

住宅性能診断士
ホームズ君

省エネ診断



操作マニュアル（基本編）

※ホームズ君「構造EX」または「耐震診断 Pro」または「すまいのかんたんプレゼン」から連動して「省エネ診断」エキスパートを使用している場合の基本入力（データの読み込み、保存、CAD入力等）は、連動元の各ホームズ君の操作マニュアルをご確認ください。



株式会社インテグラル

目次

第1章 システム概要	2
1-1 システムの概要.....	3
1-2 システムの流れ（新築モード）.....	5
1-3 システムの流れ（リフォームモード）.....	5
1-4 木造建築物電算プログラム認定について.....	7
1-5 他のホームズ君製品からの連動について.....	8
1-6 起動ライセンスの選択.....	12
第2章 メニューバー	13
2-1 新規作成.....	14
2-2 ファイルを開く.....	15
2-3 保存.....	16
2-4 プラン選択.....	17
2-5 縮尺、グリッド幅、表示設定、凡例.....	18
2-6 拡大、縮小.....	19
2-7 移動.....	20
2-8 モジュール幅部分変更.....	21
2-9 補助線追加、削除.....	22
2-10 補助点追加、削除.....	23
2-11 階全体を平行移動.....	25
2-12 階の入力を他階にコピー.....	26
2-13 CEDXM読み込み.....	27
2-14 CEDXM出力.....	28
2-15 マイホームデザイナーデータ読み込み.....	29
2-16 マイホームデザイナーデータ出力.....	30
2-17 文字移動.....	31
2-18 お知らせ機能.....	32
2-19 情報送受信設定.....	33
第3章 CAD入力	34
3-1 建物概要.....	35
3-2 下絵読込.....	36
3-3 壁の入力.....	41
3-4 部屋名称.....	44
3-5 開口部.....	45
3-6 屋根（手入力・編集）.....	48
3-7 バルコニー、小屋裏収納.....	56
3-8 吹出し.....	57
3-9 画像追加.....	58
3-10 寸法線.....	59
3-11 3D確認.....	60

第1章 システム概要

- 1-1 システムの概要
- 1-2 システムの流れ（新築モード）
- 1-3 システムの流れ（リフォームモード）
- 1-4 木造建築物電算プログラム認定について
- 1-5 他のホームズ君製品からの連動について
- 1-6 起動ライセンスの選択

1-1 システムの概要

ホームズ君「省エネ診断エキスパート」(以下、本システム)は、木造住宅の省エネ性能のチェックを目的とし、以下の基準に対応した計算を行います。

また、「パッシブ設計オプション」を追加すると、周辺環境を入力する事により日当たりや室温等の各種シミュレーションが可能になります。(省エネ診断エキスパートのみ)

■住宅性能表示制度

- ・断熱等性能等級
- ・一次エネルギー消費量等級

<参考文献>

一般社団法人 住宅性能評価・表示協会 発行

「低炭素建築物認定に係る技術的審査マニュアル(2013 住宅編) (第1刷)」

一般社団法人 木を活かす建築推進協議会 発行

「住宅省エネルギー技術 設計者講習 テキスト(第一版)」

- ・説明義務化に対応

■燃費シミュレーション機能

■パッシブ設計機能(※パッシブ設計オプション)

- ・敷地・日当たりナビ
- ・太陽光発電シミュレーション
- ・照度シミュレーション
- ・日当たりシミュレーション(日影、日照時間、日射熱)
- ・室温・動的熱負荷計算
- ・結露チェック
- ・通風シミュレーション

■リフォーム設計機能

- ・部分評価区画の外皮平均熱貫流率 UA
- ・区画熱損失係数 Q^* (キュースター)

<参考文献>

国立研究開発法人 建築研究所ウェブサイト 公開

平成29年度 長期優良住宅化リフォーム推進事業「住宅性能に係る評価基準」

一般財団法人 建築環境・省エネルギー機構 発行

「改修版 自立循環型住宅への設計ガイドライン」

■適用範囲

- ・木造軸組構法住宅、枠組壁工法住宅
- ・3階建てまで
- ・建物規模・・・ $X=100m$ 、 $Y=100m$
- ・モジュール幅・・・ $910mm$ (任意の幅に変更可能)
- ・入力可能な構造、形状・・・斜め壁、間崩れ壁、段窓、ロフト(小屋裏収納)

■適用対象外の建物

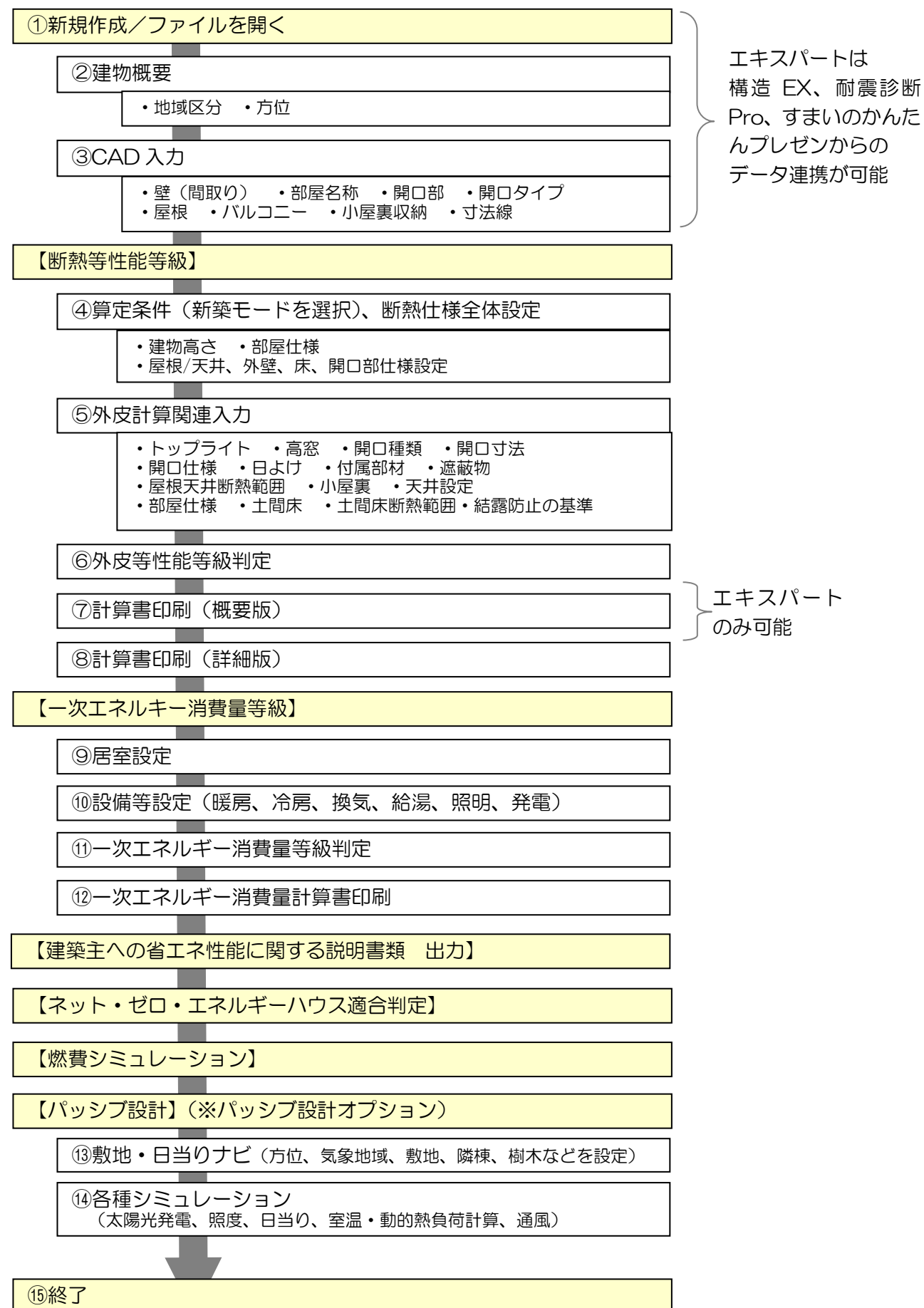
以下の建物はホームズ君「省エネ診断エキスパート」では入力、計算を行うことができません。あらかじめご了承ください。

- ・四方を壁で囲まれた中庭のある建物
- ・ペントハウス
- ・店舗、事務所併用住宅の店舗、事務所部分(住戸以外の部分)
- ・共同住宅の共用部分など(住戸以外の部分)
- ・ツインタワー等いずれかの階が2棟に分かれている建物
- ・地下室のある建物

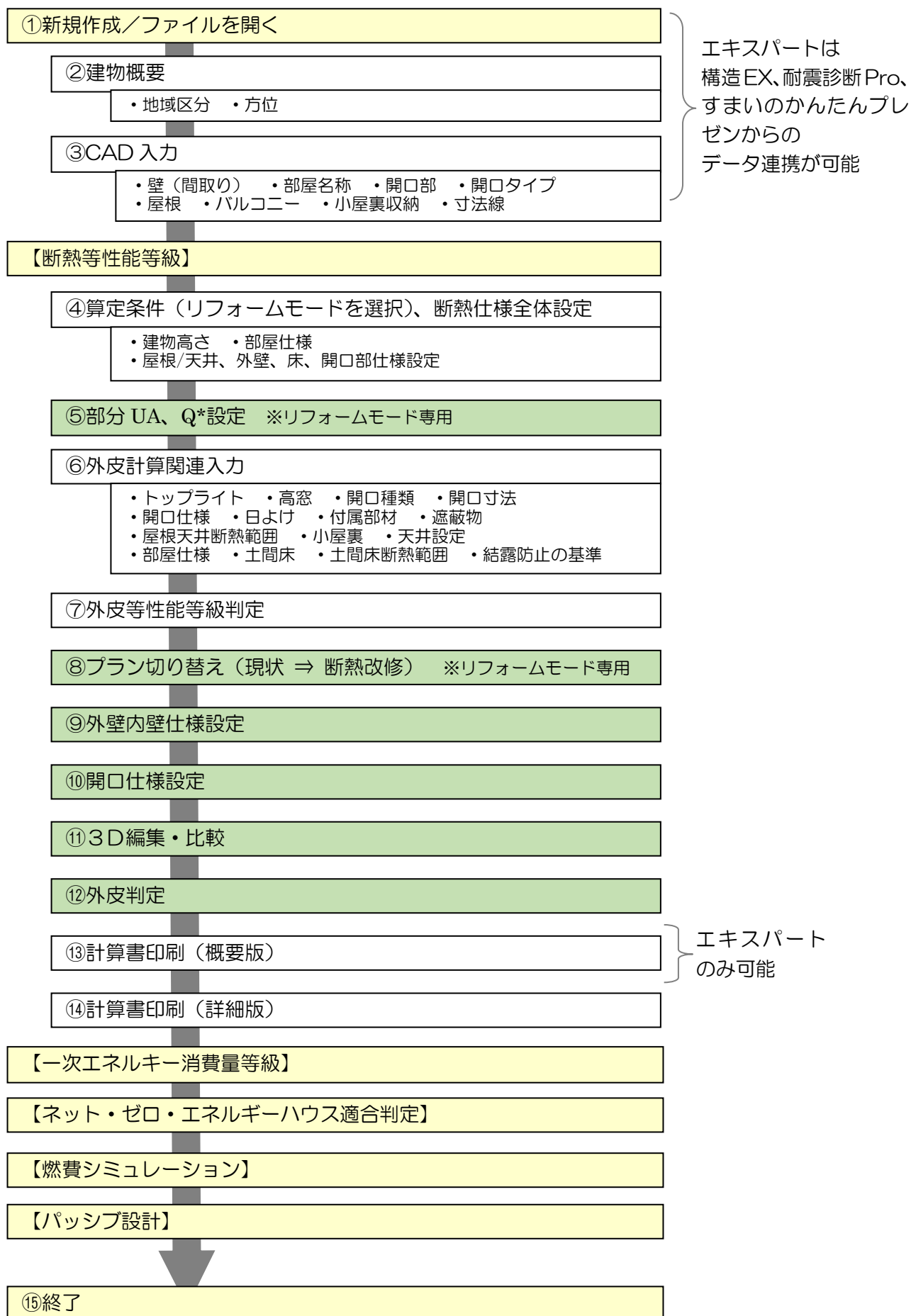
■必要なシステム構成

項目	条件
コンピュータ	<p>下記の要件（OS、ディスプレイ、ハードディスク、メモリ、インターフェース）を全て満たすコンピュータ</p> <p>【注意事項】 次の環境には対応していません（動作保証外です）</p> <ul style="list-style-type: none"> • Apple Mac • 仮想マシン （例：VMware、VirtualBox、Hyper-V、Parallels、VDI や DaaS 等のデスクトップ仮想化） • 自作パソコン • メーカーが下記の OS の動作を保証していないパソコン • Arm 版 Windows OS
OS	<p>Microsoft Windows 11（64ビット版） Microsoft Windows 10（64/32ビット版）※</p> <p>【※Windows10へのホームズ君製品の対応】</p> <ul style="list-style-type: none"> • Windows10へのホームズ君製品の対応は、Microsoftによるサポート(無償)の終了日(2025年10月14日)までとなります。 • Microsoftのサポートが終了しているWindows10のバージョンについては、ホームズ君製品の動作保証の対象外となります。 Windows10のサポート対象バージョンにつきましては下記サイトよりご確認ください。 <p>https://learn.microsoft.com/ja-jp/lifecycle/products/windows-10-home-and-pro</p> <p>※：「パッシブ設計オプション」の室温・動的熱負荷計算において、計算エンジン「EnergyPlus」は64ビット版でのみ使用できます。32ビット版では「EESLISM」のみ使用可能です。詳細は「操作マニュアル（パッシブ設計オプション）」を参照ください。</p> <p>【注意事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> • Windowsのタブレットモードには対応していません（動作保証外です） • ここで示されている内容は、ホームズ君製品の最新バージョンにおける動作要件です。バージョンによっては、各OSでの動作を保証していないものがございます。 詳細は、以下のページをご確認ください。 • 「Windows 11 対応状況について」 https://www.homeskun-f.com/support/win11.html • 「Windows 10 対応状況について」 https://www.homeskun-f.com/support/win10.html
ディスプレイ	解像度 1024×768ピクセル 以上
ハードディスク	本プログラム専用の領域として2GB以上 （ユーザーが作成するファイル用の領域を除く）
メモリ	各OSの推奨値以上
インターフェース	USB2.0 以上に対応したUSBポートを1つ以上搭載 （認証用のUSBキーの接続にUSBポートが1つ以上必要）

1-2 システムの流れ（新築モード）



1-3 システムの流れ (リフォームモード)



1-4 木造建築物電算プログラム認定について

ホームズ君「省エネ診断エキスパート」(以下本プログラム)は、公益財団法人日本住宅・木材技術センターが実施している「木造建築物電算プログラム認定」において、一般社団法人住宅性能評価・表示協会「低炭素建築物認定に係る技術的審査マニュアル(2013住宅編)」および、国立研究開発法人建築研究所ウェブサイト「平成28年省エネルギー基準に準拠したエネルギー消費性能の評価に関する技術情報(住宅)」に記載された外皮平均熱貫流率(UA値)、冷房期の平均日射熱取得率(η AC値)の計算方法に準拠したプログラムであることとして、認定書(認定番号:P04-04)の交付を受けております。認定対象の計算書・図面の用紙右上に「木造建築物電算プログラム認定」の認定番号が印字され、認定マークが表紙及び注意事項のページに表記されます。



【認定の範囲】

本プログラムの認定の範囲を下に示します。本プログラムの全ての機能が認定対象ではありませんのでご注意ください。

本製品における認定の範囲

● : 認定対象 ○ : 認定対象外

【平成28年省エネ基準 適合判定】

- 外皮性能
- 一次エネルギー消費量

【住宅性能表示制度】

- 断熱等性能等級
- 一次エネルギー消費量等級

【木造建築物電算プログラム認定とは】

公益財団法人日本住宅・木材技術センターが実施している認定制度です。目的は、木造建築物電算プログラムに係る認定を行うことを通じて、木造建築物の品質性能および生産性の向上に寄与し、もって、木造建築物の関連産業の発展と国民生活の向上に貢献することとなっています。認定にあたっては、学識経験者で構成する「木造建築物電算プログラム認定委員会」が設置され、電算プログラムの適切さ(法令との整合性、プログラム処理の妥当性、誤用防止策等)や運用の適切さ(メンテナンスや苦情処理体制等)について審査が行われます。

【注意点】

- 平成28年省エネルギー基準をもとにした等級判定は、「断熱等性能等級」と「一次エネルギー消費量等級」に分かれますが認定対象は「断熱等性能等級」のみとなります。
- 断熱等性能等級判定における、外皮性能の評価方法は以下の方法に対応しています。
 - <性能基準>
 - 1) 標準計算ルート.....○対応
 - 2) 簡易計算ルート(外皮面積を計算しない方法).....×未対応
 - 3) 簡易計算ルート(モデル住宅法).....×未対応
 - <仕様基準>
 - 4) 仕様ルート.....×未対応
- 断熱等性能等級判定における、部位の熱貫流率の算定方法は以下の方法に対応しています。
 - 1) 簡略計算法.....○対応
 - 2) 詳細計算法.....○対応
 - 3) 部位別仕様表.....○対応
- 本プログラムでは、「設計者が任意に部材や仕様を登録できる項目」があります。本プログラムの利用者ならびに本プログラムの計算結果を確認する立場の方は、この点を十分理解のうえ、ご利用ください。
 - 「設計者が任意に部材を登録できる項目」
 - 1) 熱貫流率マスタ(屋根、天井、外壁、開口部、床、基礎)
 - 2) 材料の熱伝導率マスタ
 - 3) 日射熱取得率マスタ

1-5 他のホームズ君製品からの連動について

■ 解説

ホームズ君「省エネ診断エキスパート」は、単体での起動のほか、他のホームズ君製品（ホームズ君「構造 EX」または「耐震診断 Pro」からのデータ連動、または「すまいのかんたんプレゼン」）からのデータ連携で起動することが可能です。

■ 連動・連携の違い

データ連動：「構造 EX」または「耐震診断 Pro」で作成した物件データに、省エネ診断エキスパート（およびパッシブ設計オプション）固有のデータを付加します。

※「省エネ診断エキスパート」の「新規作成」「開く」「保存」、および「CAD 基本入力」「建物概要」の機能は使えません。

建物の CAD 入力の変更やデータの保存は、「終了」ボタンから連動元のホームズ君製品（「構造 EX」または「耐震診断 Pro」）に戻った後、行ってください。

データ連携：「すまいのかんたんプレゼン」で作成した物件データから、主に建物概要・CAD 共通部分を引き継ぎ省エネ診断エキスパートのデータに変換します。

■ 連動項目

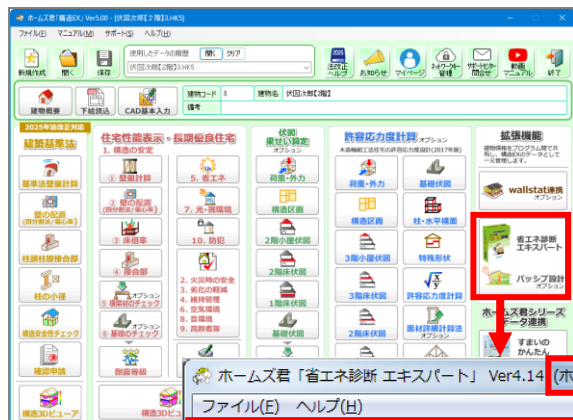
以下の項目がホームズ君「省エネ診断」エキスパートに引き継がれます。

連動項目		耐震診断 Pro	構造 EX	すまいのかんたんプレゼン	
建物概要	建物情報	●	●	●	
	方位	●	●	●	
CAD 入力	壁	●	●	●	
	柱、柱（あらかし）	×	×	×	
	ポーチ柱	-	-	×	
	ポーチ床	-	-	×	
	開口部	開口部（幅）	●	●	●
		開口タイプ	●	●	▲ 省エネ診断エキスパートに無い開口種類は「折戸」「引き違い」「その他」のいずれかに置換
		上下窓	-	-	●
		トップライト・高窓	-	-	●
		特殊窓（形状）	-	-	▲ 長方形に整形
		玄関ドア	-	-	▲ 開口部の1つとして読込。 デザイン、色、メーカー品ドア情報は読込まない
		その他の開口部属性	-	-	×
	バルコニー	▲ 平面形状のみを読込。 高さ設定等は読込まない			
	屋根	▲ パラペットは読込まない			
	その他	-	-	×	
外皮	建物高さ（算定条件設定）	●	●	●	
	開口寸法（開口高さ・取付高さ）	●	-	●	
パッシブ設計	敷地・隣棟	-	-	●	

【凡例】

- ：引き継がれる
- ×：引き継がれない
- ▲：制限事項あり
- ：非対応

ホームズ君「構造EX」からの連動の場合



ホームズ君「省エネ診断」
エキスパート



連動時は
「省エネ診断」で
以下の操作はでき
ません。「構造EX」
に戻って行ってく
ださい。

- ・ 新規作成
- ・ 開く
- ・ 保存
- ・ CAD 基本入力
- ・ 建物概要

ホームズ君「耐震診断Pro」からの連動の場合



ホームズ君「省エネ診断」
エキスパート



連動時は「省エネ診断」で以下の操作はできません。「耐震診断Pro」に戻って行ってください。

- ・新規作成
- ・開く
- ・保存
- ・CAD基本入力
- ・建物概要

ホームズ君「すまいのかんたんプレゼン」からの連携の場合



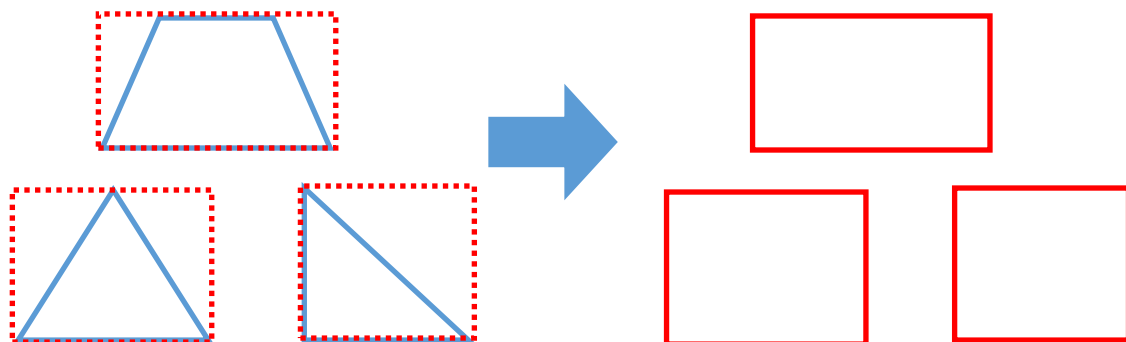
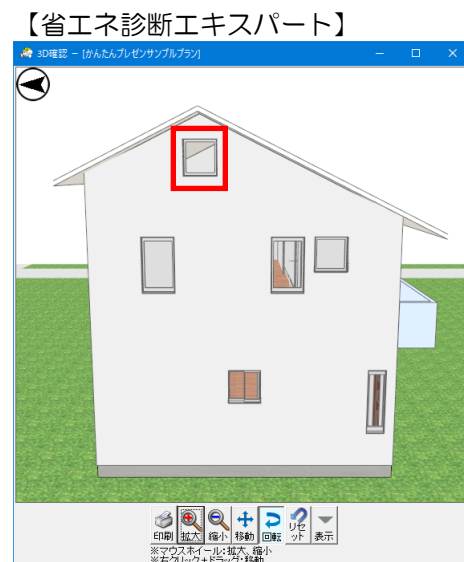
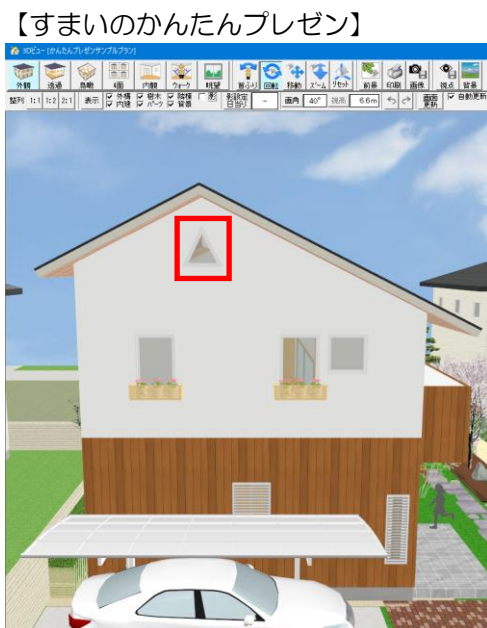
「すまいのかんたんプレゼン」で選択中のデータが「省エネ診断エキスパート」に引き継がれます。
※「すまいのかんたんプレゼン」は引継後、終了します。



■制限事項

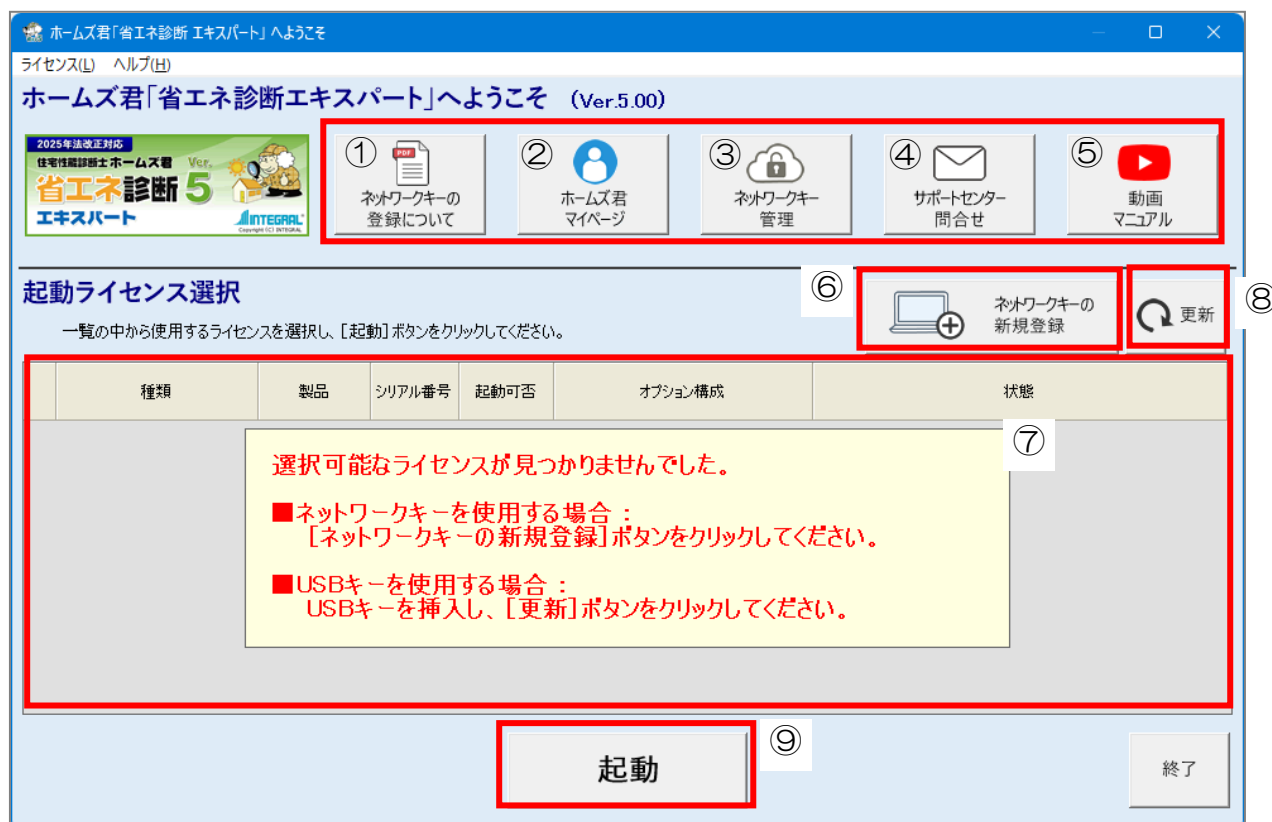
「すまいのかんたんプレゼン」から連携する場合、開口部について以下の制限があります。

- 特殊形状の窓（台形・三角形）は、長方形窓に変換されます。
寸法は、元の台形（もしくは三角形）の範囲を囲む長方形となります。



※窓の面積を変換前と合わせたい場合、外皮モードの「開口寸法」から窓高さを変更してください。詳しくは操作マニュアル(平成28年省エネ基準)「1-17」開口寸法を参照ください。

1-6 起動ライセンスの選択



■操作方法

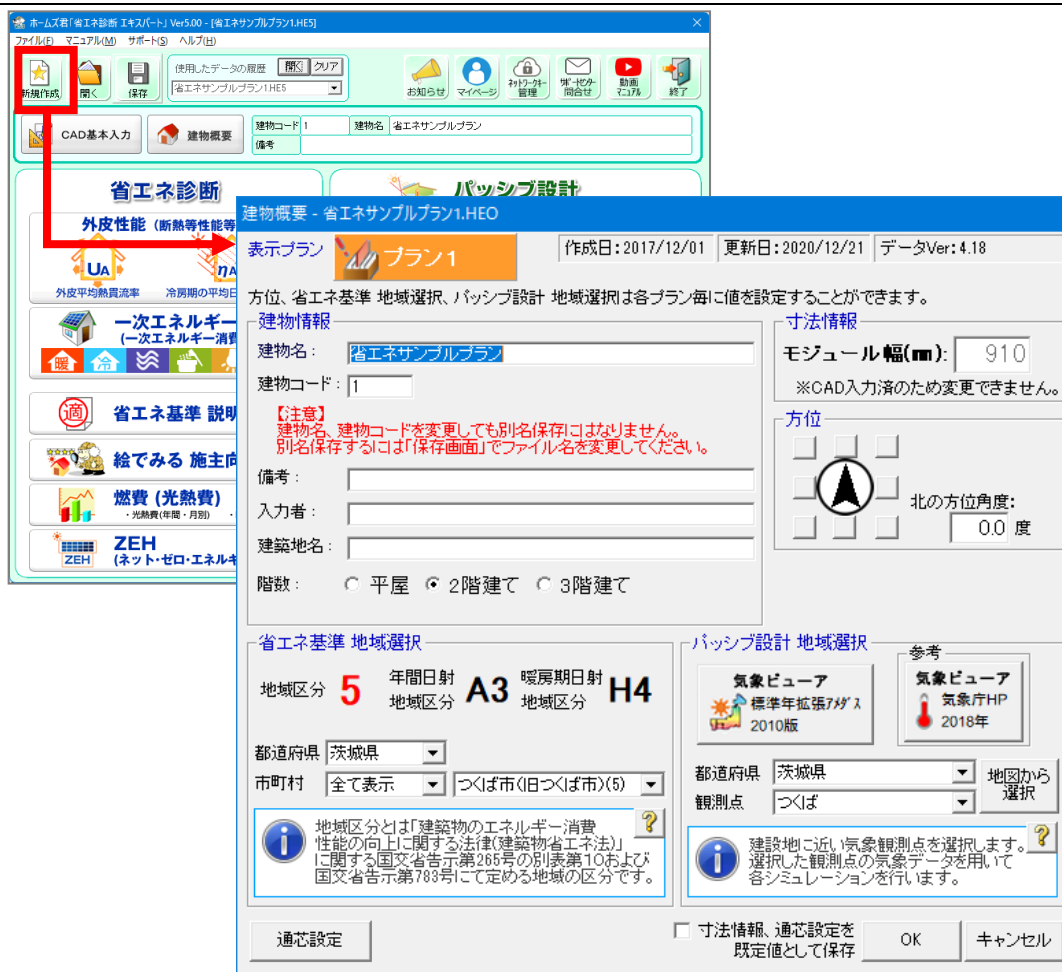
ホームズ君「構造 EX」を起動すると、起動ライセンスの選択画面が表示されます。

- ① ネットワークキーで使用する場合の登録方法を表示します。
- ② マイページを表示します。
(マイページでは、インストール用プログラムのダウンロード、ネットワークキーの管理、安心フォーラム会員専用の動画視聴などが行えます。)
- ③ マイページのネットワーク管理画面を表示します。
(ネットワークキーを登録した PC の変更などが行えます。)
- ④ サポートセンターのメール問合せフォームを表示します。
- ⑤ ホームズ君製品の操作マニュアルやセミナー動画の Web ページを表示します。
- ⑥ ホームズ君をネットワークキーで起動するための「シリアル番号」および「ネットワークキー用登録コード」を入力します。
- ⑦ ネットワークキーの登録が完了している場合、または USB キーを PC に挿入している場合、そのライセンス情報（製品名やシリアル番号、オプション構成）が表示されます。
起動したいライセンスを選択して起動します。
- ⑧ 「起動ライセンス選択」画面の更新を行います。
主に以下の場合にお使いください。
 - ・USB キーを挿入せずに起動してしまった場合
 - ・別の PC で使用中のネットワークキーを強制終了し、現在の PC で使用する場合
- ⑨ ⑦ で選択したライセンスでホームズ君を起動します。

第2章 メニューバー

- 2-1 新規作成
- 2-2 ファイルを開く
- 2-3 保存
- 2-4 プラン選択
- 2-5 縮尺、グリッド幅、表示設定、凡例
- 2-6 拡大、縮小
- 2-7 移動
- 2-8 モジュール幅部分変更
- 2-9 補助線追加、削除
- 2-10 補助点追加、削除
- 2-11 階全体を平行移動
- 2-12 階の入力を他階にコピー
- 2-13 CEDXM 読み込み
- 2-14 CEDXM 出力
- 2-15 マイホームデザイナーデータ読み込み
- 2-16 マイホームデザイナーデータ出力
- 2-17 文字移動
- 2-18 お知らせ機能
- 2-19 使用状況の送信

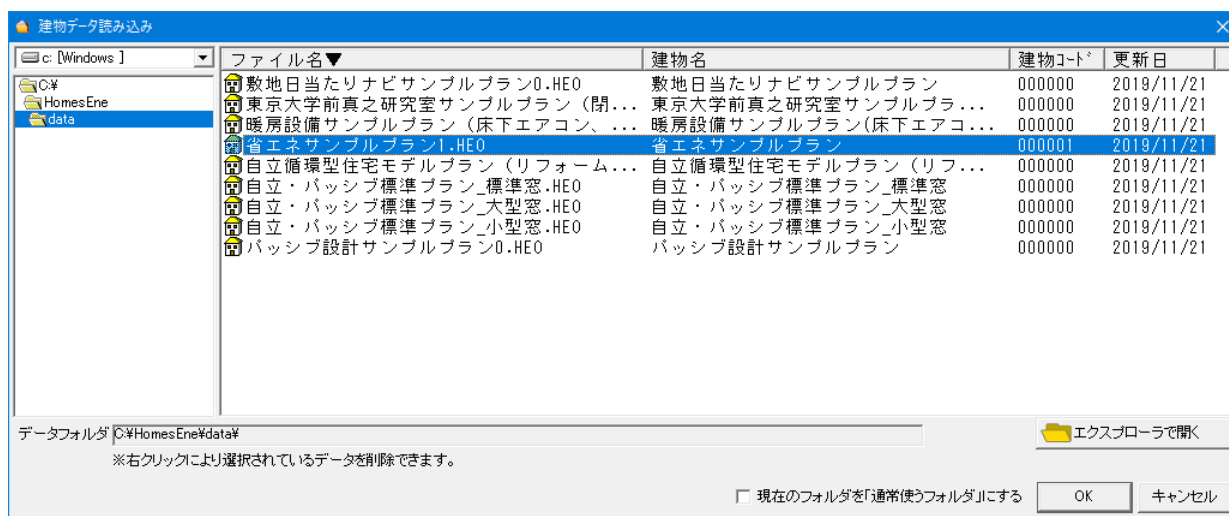
2-1 新規作成



■操作方法

- ①メインメニューの【新規】ボタンをクリックします。
- ②【建物概要】画面が表示されます。
- ③建物名、建物コードを入力します。 ※建物名と建物コードからファイル名が作成されます。
- ④省エネ基準およびパッシブ設計の地域選択を行います。
- ⑤画面内の各設定（階数、方位等）を行います。
※CAD 画面で壁を入力した後は、モジュール幅の変更は不可となります。
- ⑥【OK】ボタンをクリックします。
⇒【建物概要】の各設定項目については、「3-1 建物概要」を参照ください。

2-2 ファイルを開く



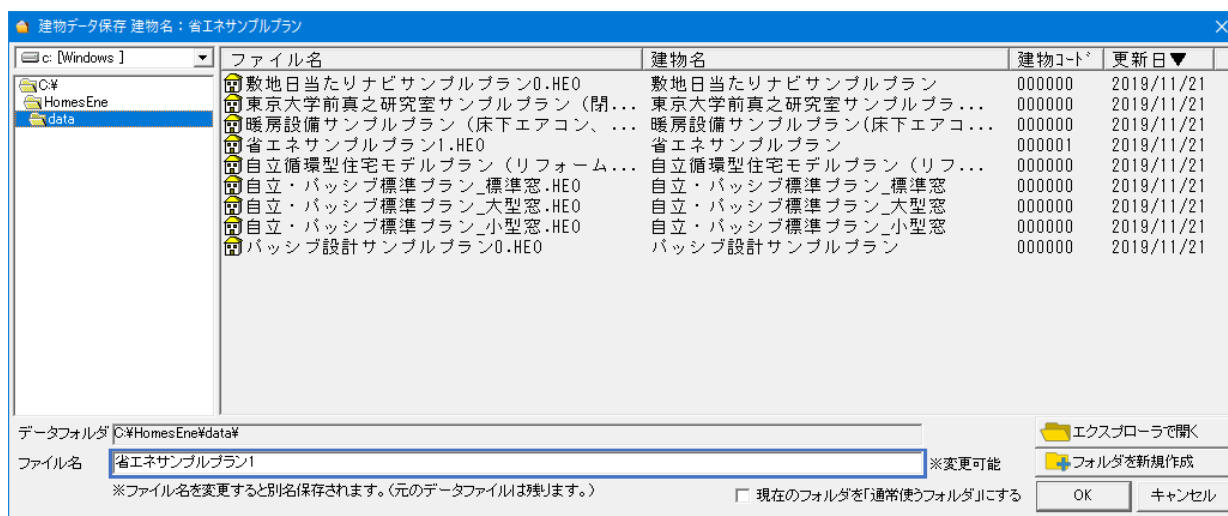
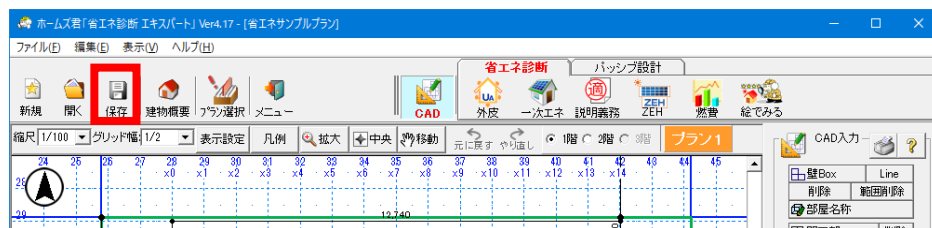
■操作方法

- ①CAD画面【開く】ボタンをクリックします。
- ②【建物データ読み込み】画面が表示されます。
- ③一覧表示された建物名から、開きたいデータの建物名をクリックして選択します。
- ④【OK】ボタンをクリックします。
- ⑤「〇〇〇〇を開きました」というメッセージが表示されます。
- ⑥【OK】ボタンをクリック後、データの編集が行えるようになります。

※拡張子が「.HEO」のファイルのみが表示されます。

建物データを保存したファイルの名称を変更する際は、拡張子を変更しないようにしてください。

2-3 保存

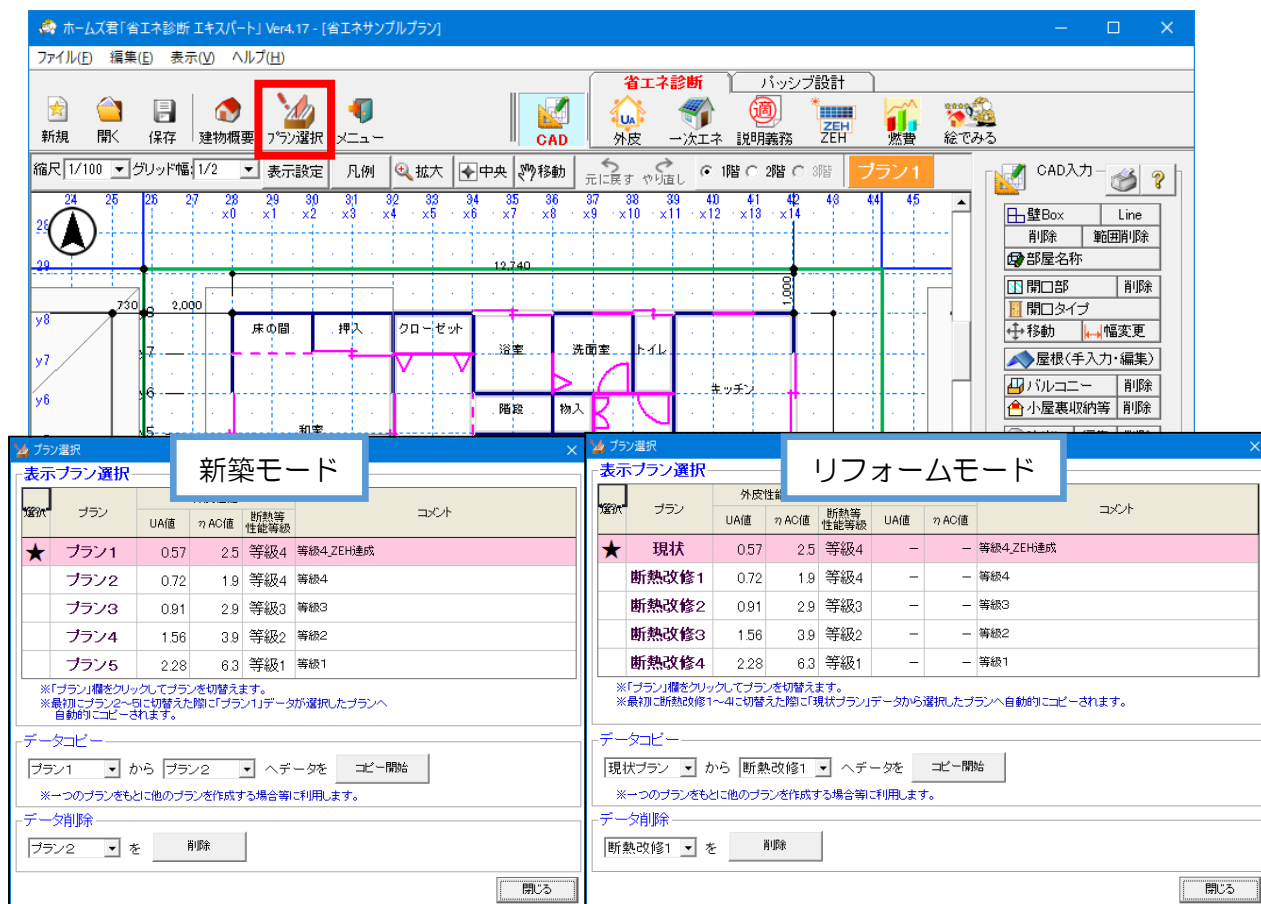


■操作方法

- ①CAD画面の【保存】ボタンをクリックします。
- ②【建物データ保存】画面が表示されます。
- ③保存先となる【データフォルダ】を確認します。
- ④保存先を変更したい場合は画面左上で「ドライブ選択」や「フォルダ選択」を行い、目的のフォルダを指定します。
- ⑤保存する【ファイル名】を確認します。
- ⑥別のファイル名で保存したい場合は、ファイル名を変更します。
- ⑦【OK】ボタンをクリックします。

※ファイル名には拡張子「.HEO」が自動的に追加されますので、ファイル名の指定の際に拡張子の入力は不要です。

2-4 プラン選択



■解説

- 本システムでは、1つのデータに最大5つまでプランを作成することができます。
新築モード：プラン1～プラン5
リフォームモード：現状、断熱改修1～断熱改修4
- 住宅性能表示制度の等級や仕様毎にプランを作成することが可能です。
- 各プランの「断熱等性能等級」が表示されます。

※新築、リフォームのモード選択は操作マニュアル（平成28年省エネ基準）「1-7）算定条件設定」を参照してください。

■操作方法

▼プラン選択

- 現在選択（表示）しているプランには「★」がついています。
- 選択したいプランの行をクリックします。
- 「プランXを表示します」というメッセージが表示され、プランが切り替わります。

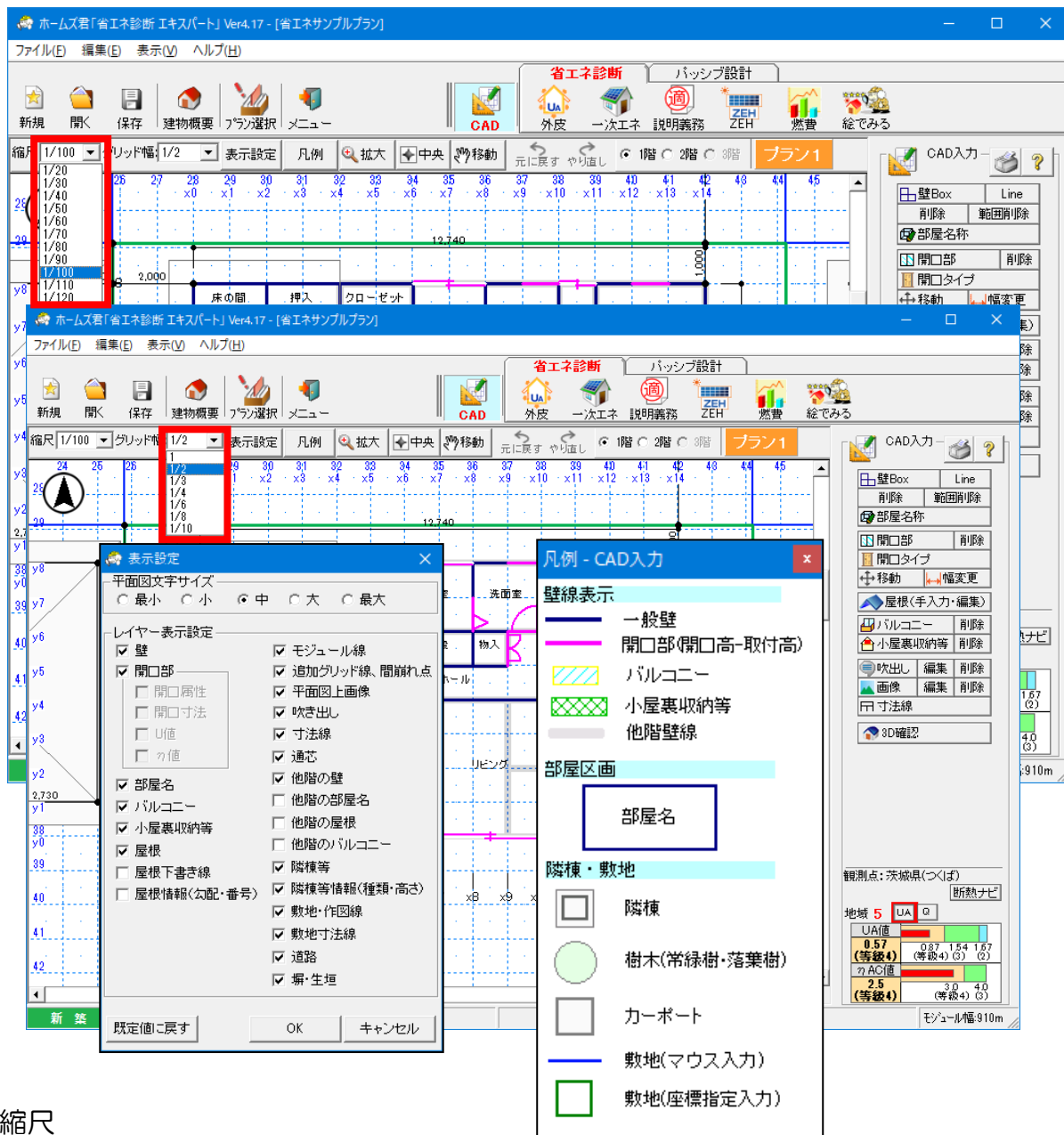
▼データコピー

- プランを丸ごとコピーします。
- コピー元とコピー先を選択して【コピー開始】ボタンをクリックします。

※[ホームズ君「構造EX」またはホームズ君「耐震診断Pro」連動時]

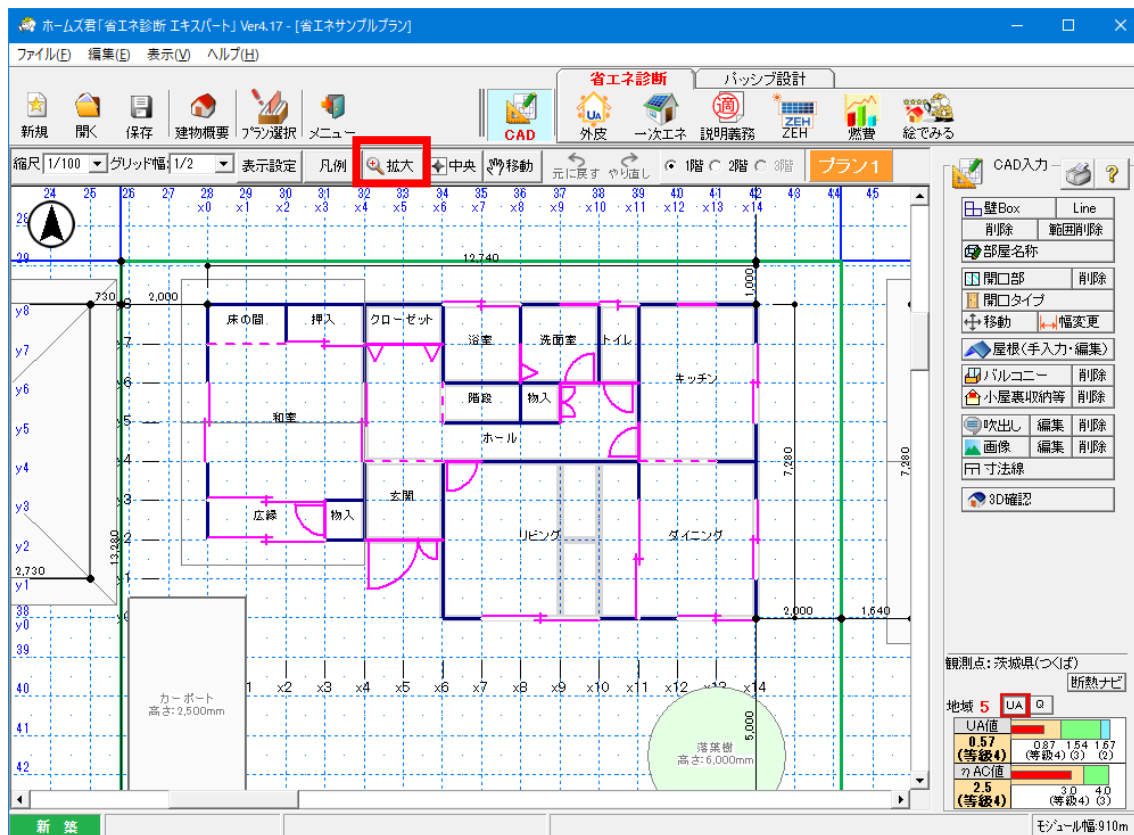
プランの選択は可能ですが、プランのコピー・削除およびコメントの編集はできません。

2-5 縮尺、グリッド幅、表示設定、凡例



- 縮尺
 - ・画面表示の縮尺を変更します。
- グリッド幅
 - ・1モジュールを指定の割合（1/2、1/3 など）で分割し、詳細な入力を可能にします。
- 表示設定
 - ・画面上に表示する項目を切り替えることができます。
 - ・表示設定でチェックした項目は、平面図にも印刷されます。
- 凡例
 - ・凡例を表示します。

2-6 拡大、縮小



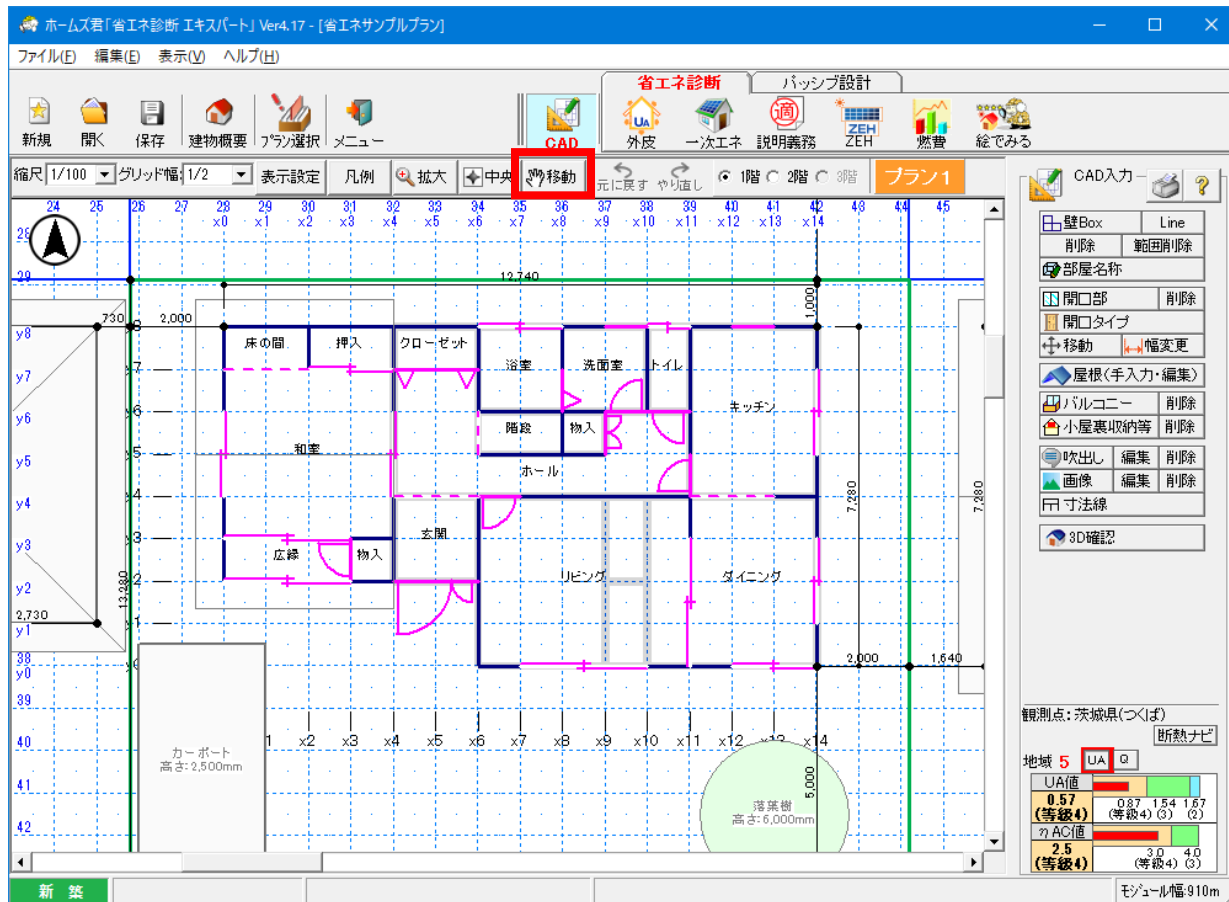
■拡大

- ・ 2点入力で囲った範囲（赤枠の範囲）を拡大します。
- ・ グリッド幅を細かくして入力する場合などに便利です。


■縮小

- ・ 縮尺を調整することで拡大した CAD 画面を縮小することが可能です。
- ・ CAD 画面でキーボードの「Esc」キーを押すと縮尺を初期値（1/100）に戻すことが可能です。

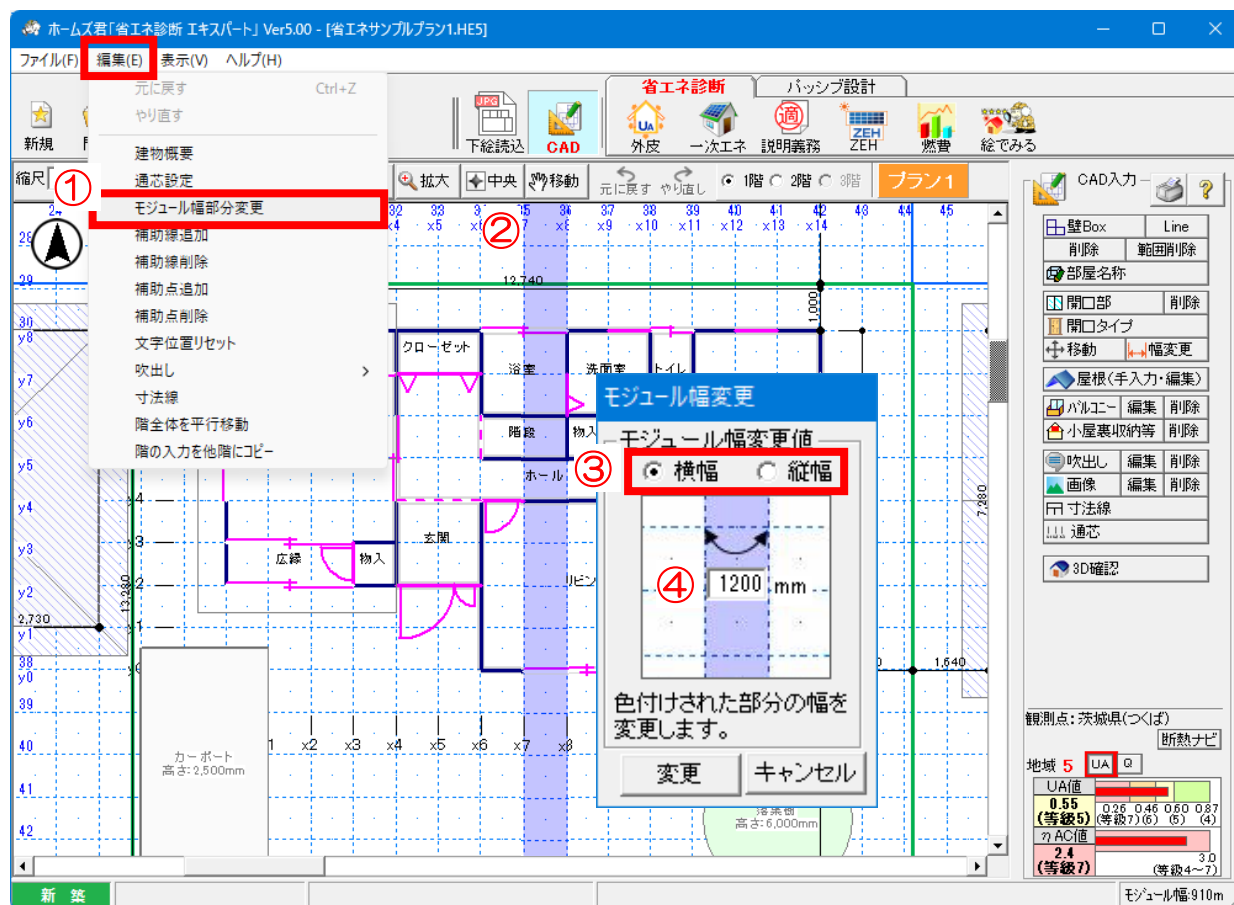
2-7 移動



■操作方法

- ①【移動】ボタンをクリックします。
⇒マウスカーソルが  のマークに変わります。
- ②平面図をドラッグすると画面がスクロールします。
右、または下のスクロールバーを動かすことなく、CAD 画面を移動することが可能です。

2-8 モジュール幅部分変更



■解説

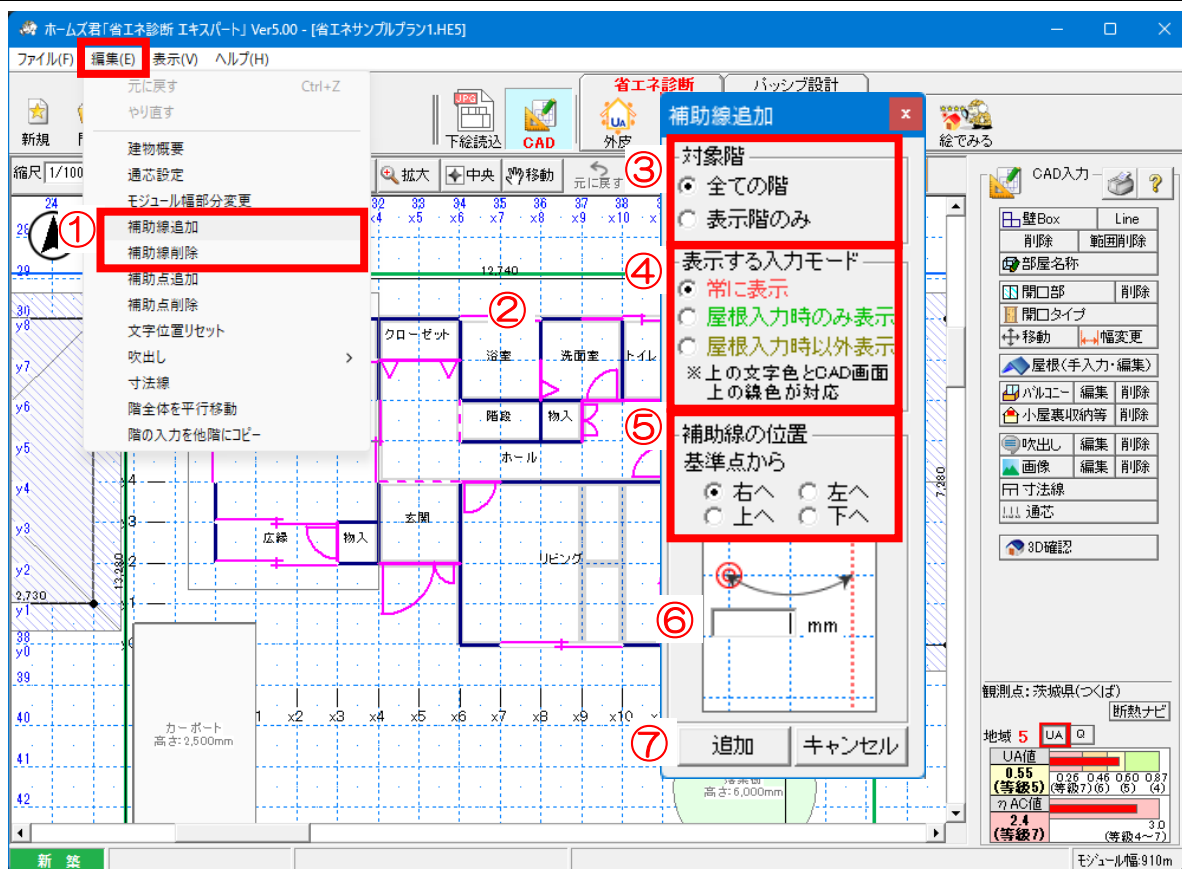
- 指定したモジュール線間の幅を変更することができます。
- mm 単位で設定が可能です。
- 手入力で屋根を入力していた場合、その屋根は削除されます。
※【元に戻す】ボタンをクリックすると削除前の状態に戻ります。

■操作方法

- ①【編集(E)】メニューの【モジュール幅部分変更】を選択します。
- ②幅を変更したいグリッド線間をクリックします。
⇒指定箇所が薄紫色で表示され、【モジュール幅変更】画面が表示されます。
- ③【モジュール幅変更】画面にて、幅の向き（横幅/縦幅）を選択します。
- ④【モジュール幅変更】画面にて、幅の長さを入力します。
- ⑤【変更】ボタンをクリックします。
⇒指定したモジュール線間の幅が、変更されます。

▼モジュール幅を元に戻す場合は、
上記③で、元のモジュール幅を入力します。

2-9 補助線追加、削除



■解説

- 任意に補助線を追加することができます。
- mm単位で設定が可能です。

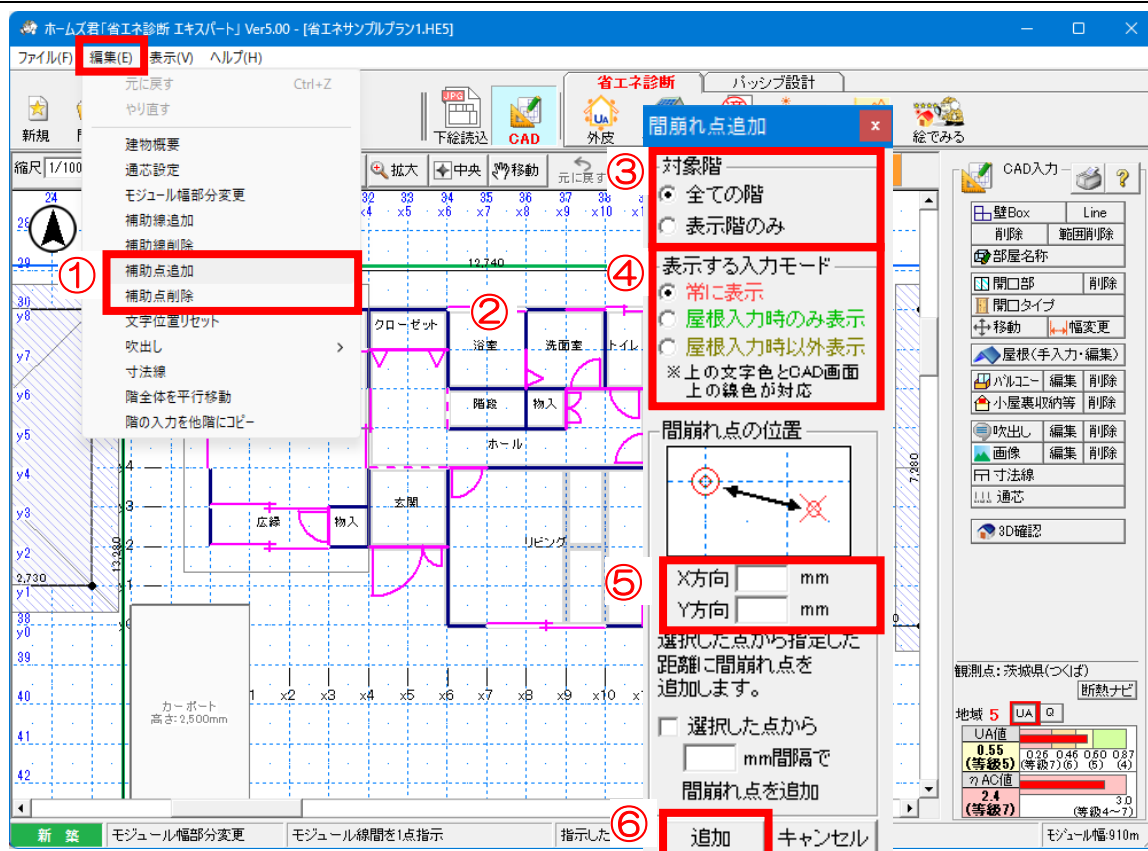
■操作方法

- ①【編集(E)】メニューの【補助線追加】を選択します。
- ②追加する補助線の基準となる点をクリックします。
⇒【補助線追加】画面が表示されます。
- ③補助線の対象階を選択します。
- ④表示する入力モードを選択します。
屋根を手入力するための補助線を追加する場合は「屋根入力時のみ表示」を、屋根の手入力の際に必要な(邪魔になる)補助線を追加する場合は「屋根入力時以外表示」を選択します。
- ⑤追加補助線の向き(縦/横)を選択します。
- ⑥基準点からの移動距離(mm)を入力します。
基準点よりも上(左)にグリッドを追加したい場合はマイナスの値を入力します。
- ⑦【追加】ボタンをクリックします。
⇒追加補助線が表示されます。

▼削除する場合は、

- ①【編集(E)】メニューの【補助線削除】を選択します。
- ②削除したい補助線(赤線)をクリックします。
- ③補助線が削除されます。

2-10 補助点追加、削除



■ 解説

- 任意の位置に補助点を追加することができます。
- 追加した点を端部として、壁や開口部を入力することができます。

■ 操作方法

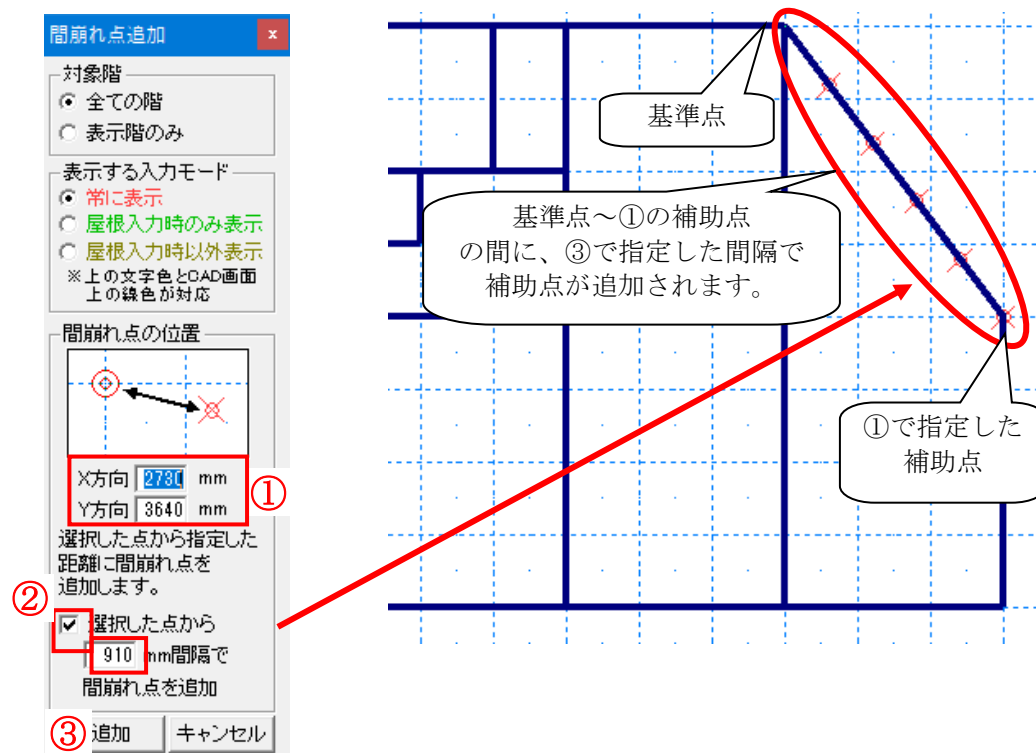
- ①【編集(E)】メニューの【補助点追加】を選択します。
- ②追加する補助点の基準となる点をクリックします。
⇒【補助点追加】画面が表示されます。
- ③補助点の対象階を選択します。
- ④表示する入力モードを選択します。
屋根を手入力するための補助点を追加する場合は「屋根入力時のみ表示」を選択します。
壁や開口の入力時のみ使用し、屋根入力時は不要という場合は、「屋根入力時以外表示」を選択します。
- ⑤②で指定した基準点からのX方向およびY方向の距離を入力します。
X方向にプラスの値を入力した場合は、基準点から右側、マイナスの値を入力した場合は左側に補助点が追加されます。
Y方向にプラスの値を入力した場合は、基準点から下側、マイナスの値を入力した場合は上側に補助点が追加されます。
- ⑥【追加】ボタンをクリックします。

▼削除する場合は、

- ①【編集(E)】メニューの【補助点線削除】を選択します。
- ②削除したい補助点をクリックします。
- ③補助点が削除されます。

次ページに続く

▼間隔を指定して補助点を追加する場合



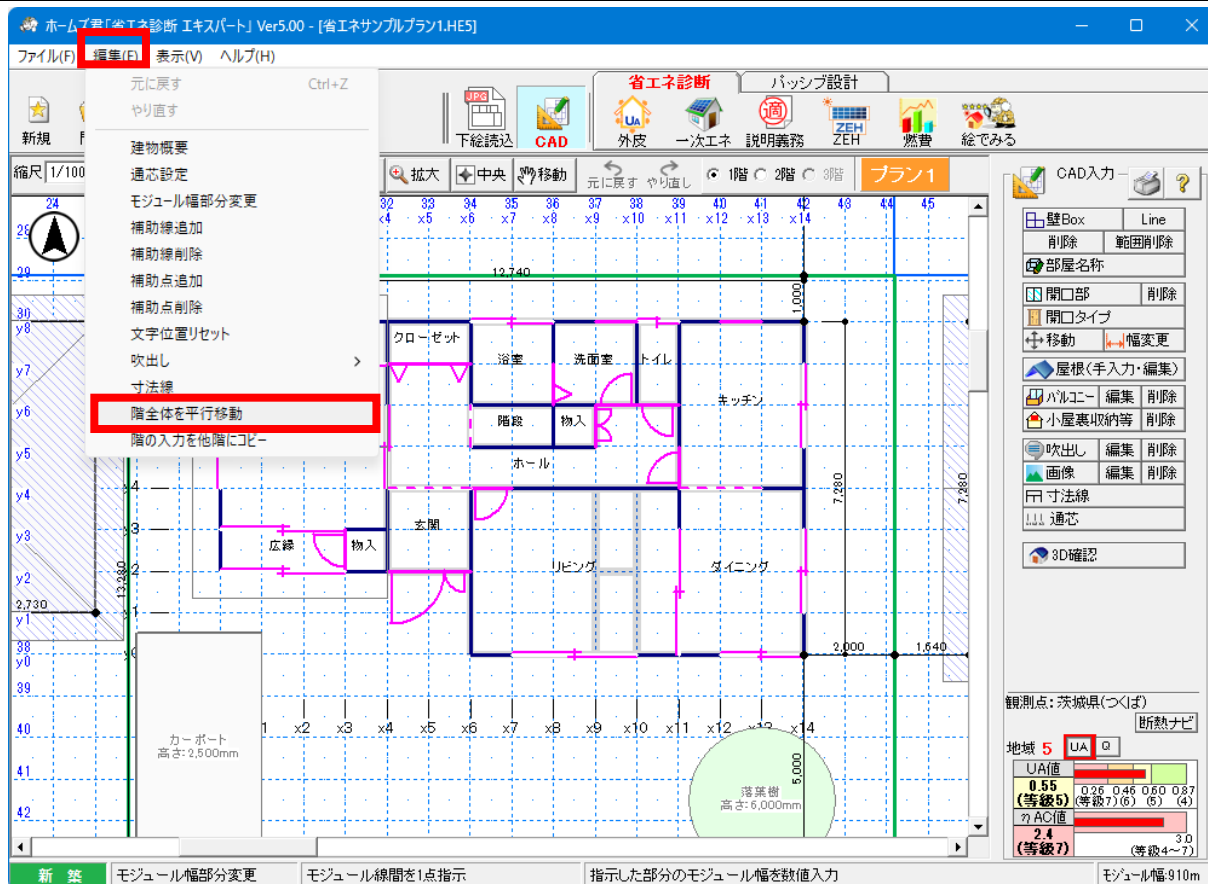
■解説

- マウスクリックで指定した基準点から、①で指定した補助点の間に、③で設定した間隔で補助点を追加します。
- 斜め壁上にある開口や柱を入力する際に使用ください。

■操作方法

- ①マウスクリックで指定した基準点からのX方向およびY方向の距離を入力します。
- ②「選択した点から〇〇間隔で補助点を追加」にチェックを入れます。
- ③補助点を追加する間隔を入力します。

2-1-1 階全体を平行移動



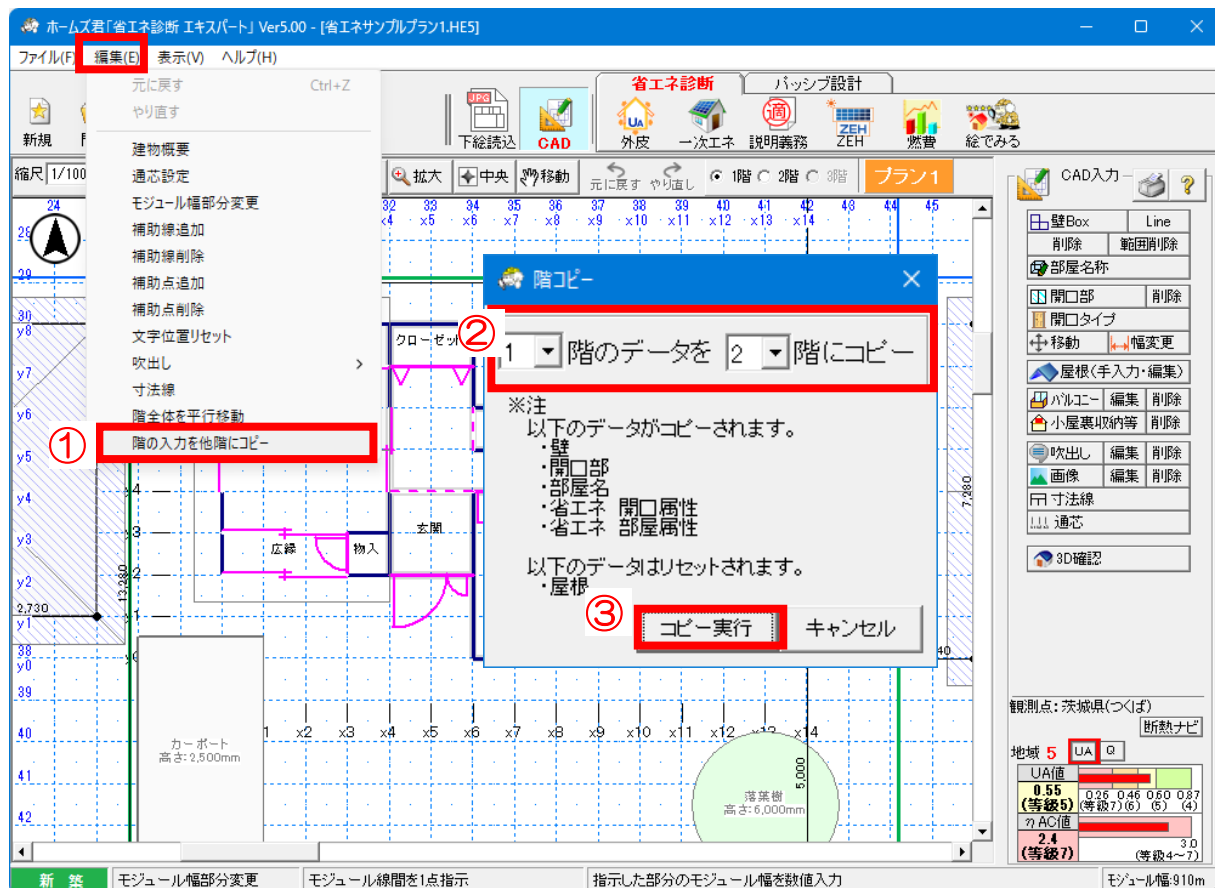
■解説

- 建物概要で設定したモジュール幅の単位で、CAD 画面上の平面図を移動させることができます。
- 階ごとに移動させることが可能です。
- 任意の幅を指定して移動させることはできません。

■操作方法

- ①【編集(E)】メニューの【階全体を平行移動】を選択します。
- ②CAD 画面上に表示されている平面図をクリックします。
⇒平面図の外周壁が赤枠で囲われます。
- ③赤枠を移動後、マウスクリックすると、平面図が移動します。
※赤枠が表示されている状態でマウスを右クリックすると、移動をキャンセルします。

2-12 階の入力を他階にコピー



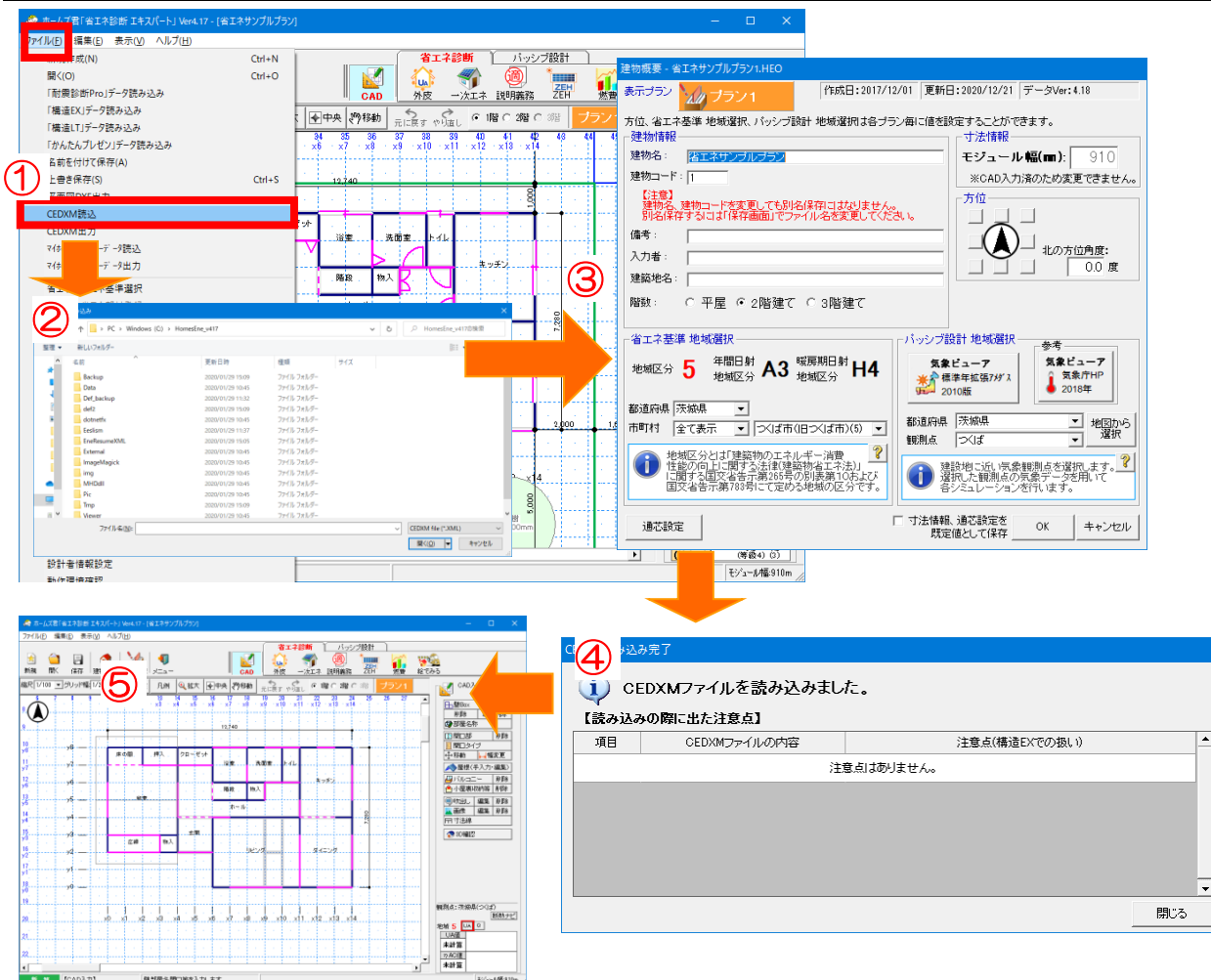
■解説

- CAD画面上で1つの階に入力した内容を別の階にコピーすることができます。
- コピーされる項目は階コピー画面の注で示されたとおりです。
- コピー先の階に元々入力されていた内容は削除されます。

■操作方法

- ①【階の入力を他階にコピー】を選択します。
- ②【階コピー】画面にて、コピー元の階とコピー先の階を選択します。
- ③【コピー実行】ボタンをクリックします。

2-1-3 CEDXM 読み込み



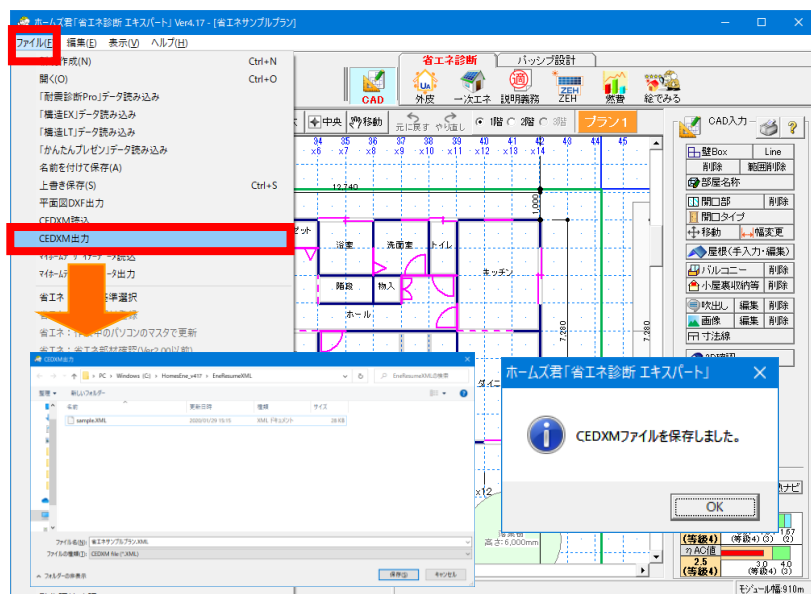
■解説

他社製 CAD ソフトで作成したデータを CEDXM ファイルを経由して、本システムに読み込んで使用することができます。

■操作方法

- ①【ファイル(F)】メニューの【CEDXM 読み込み】を選択します。
- ②読み込みたい CEDXM ファイルを選択し、【開く】ボタンをクリックします。
- ③建物概要入力画面が表示されますので、内容を確認し、必要に応じて修正して【OK】ボタンをクリックします。
⇒【建物概要】の各設定項目については、「3-1 建物概要」を参照ください。
- ④ CEDXM ファイル読み込み完了のメッセージが表示され、【読み込みの際に出た注意点】が表示されますので、内容を確認し、【閉じる】ボタンをクリックします。
- ⑤読み込まれたデータの CAD 画面が表示されます。

2-14 CEDXM 出力



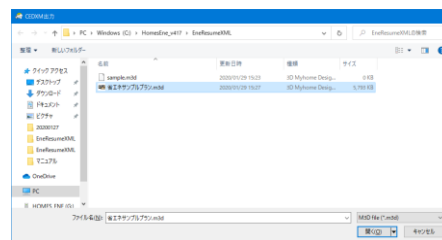
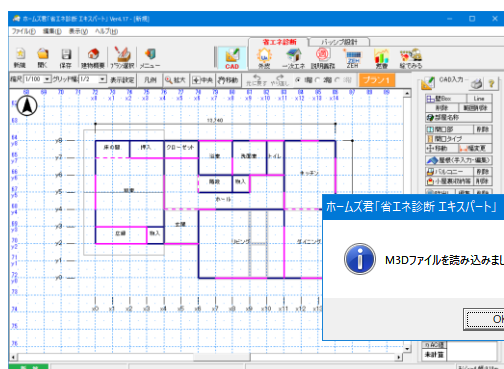
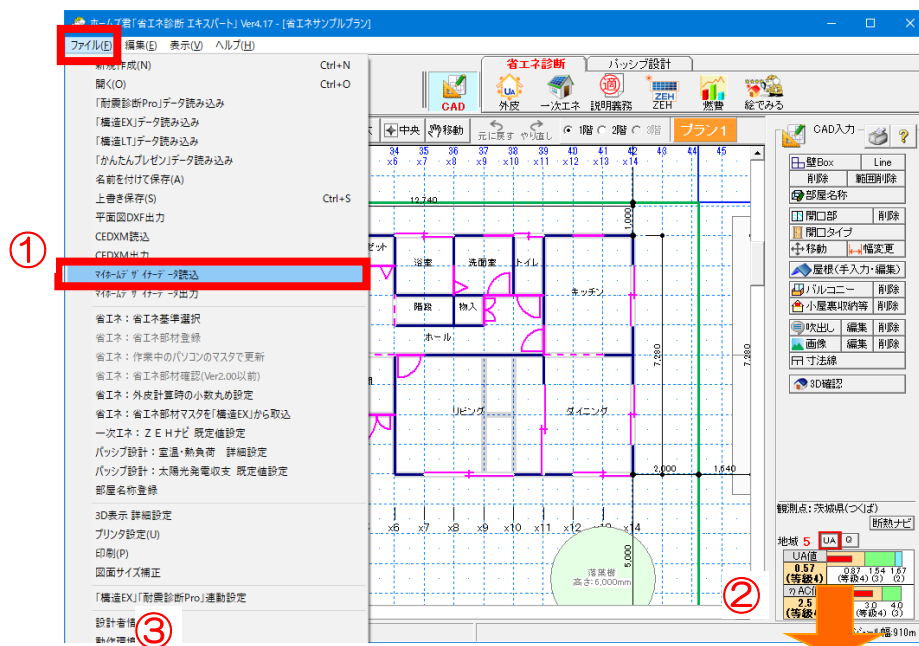
■解説

- 入力した建物のデータを CEDXM ファイルに保存することができます。
- 保存した CEDXM ファイルは、他社製 CAD ソフトで読み込んで使用することができます。

■操作方法

- ①【ファイル(F)】メニューの【CEDXM 出力】を選択します。
- ②【名前をつけて保存】画面が表示されます。
- ③保存先を確認（変更）し、ファイル名を設定したら、【保存】ボタンをクリックします。

2-15 マイホームデザイナーデータ読み込み



■解説

- メガソフト株式会社製の3D住宅デザインソフト「3Dマイホームデザイナー-PRO」で保存されたデータの間取り情報を構造EXに読み込むことができます。
- ホームズ君「構造EX」では、「3Dマイホームデザイナー-PRO7～PRO9」に対応しています。

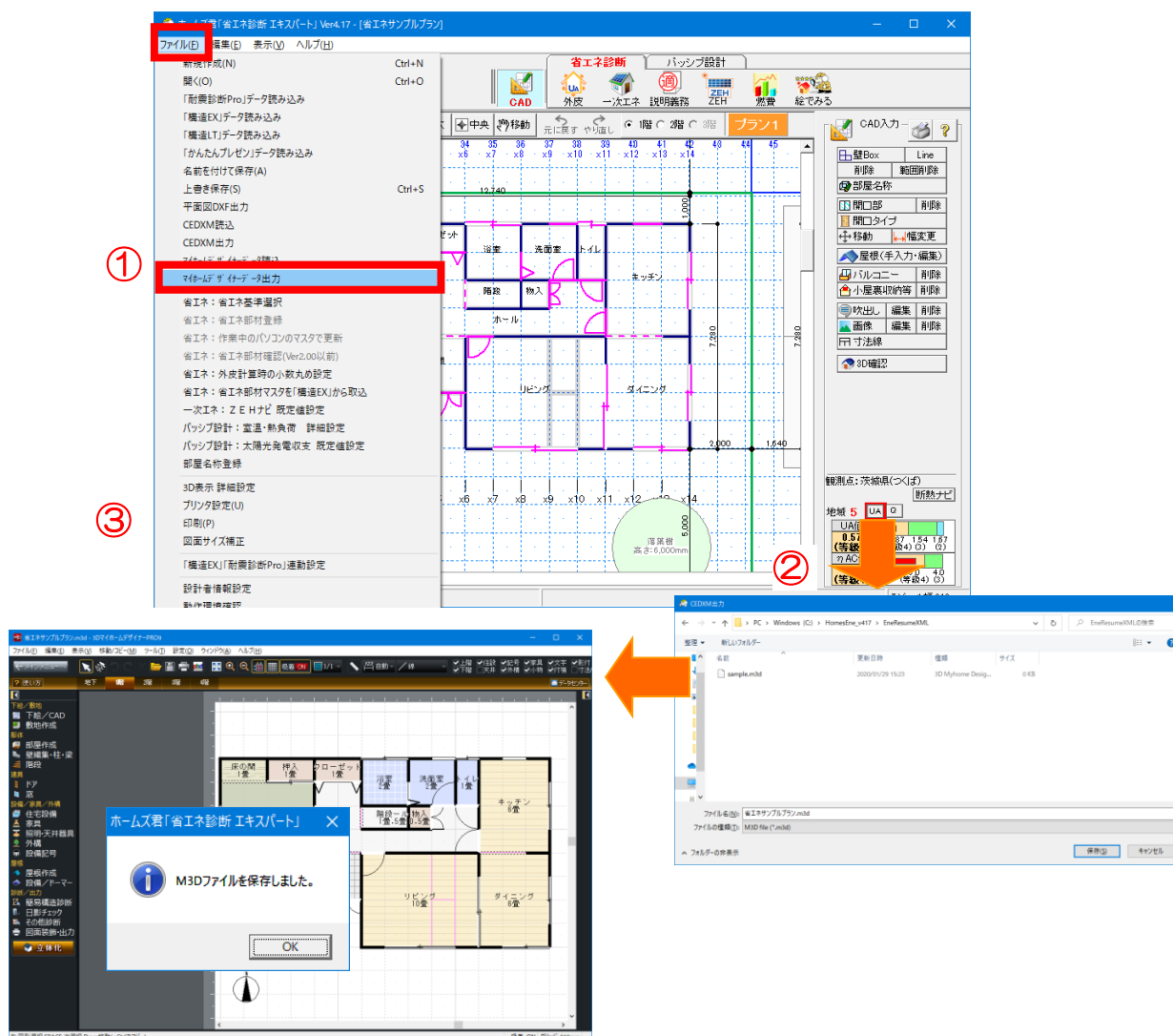
■操作方法

- ①【ファイル】メニューの【マイホームデザイナーデータ読み込み】を選択します。
- ②読み込みたいマイホームデザイナーのデータファイル（M3Dファイル）を選択し、【開く】ボタンをクリックします。
- ③しばらく待つと読み込み完了のメッセージが表示され、読み込まれたデータのCAD画面が表示されます。読み込みが終わった時点で「3Dマイホームデザイナー-PRO」は終了します。
※読み込みが正しく行えない場合は、「3Dマイホームデザイナー-PRO」が起動していない状態で、本システムを管理者として実行した上で再度読み込みを行ってください。

■注意

マイホームデザイナーデータ読み込みおよび書き出しを行うためには「3Dマイホームデザイナー-PRO7」のver.7.0.11以降が必要です。それ以前のバージョンを使用している場合はアップデートを行ってください。

2-16 マイホームデザイナーデータ出力



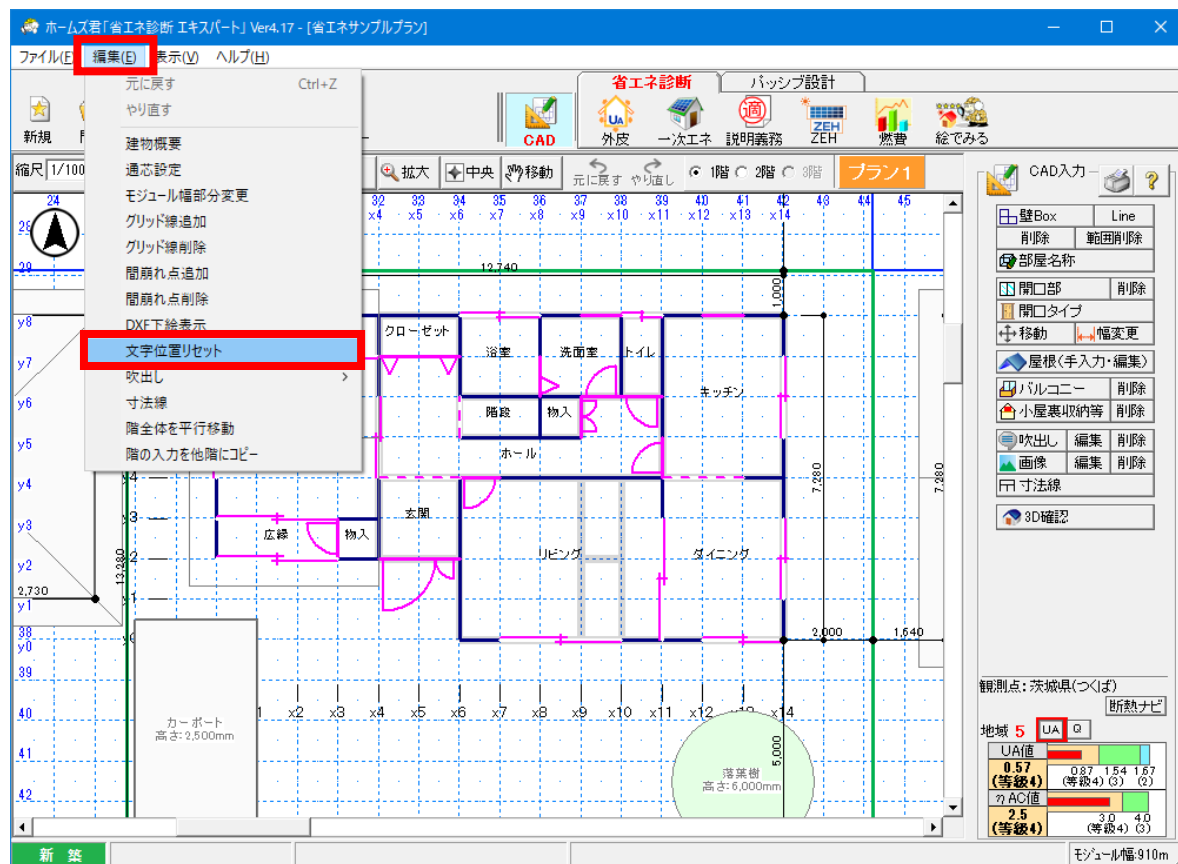
■解説

本システムで入力したデータを「3D マイホームデザイナーPRO7」および「3D マイホームデザイナーPRO8」に間取り情報として渡すことができます。

■操作方法

- ①本システムで渡したいデータが入力されている状態で、【ファイル】メニューの【マイホームデザイナーデータ書き出し】を選択します。
 - ②保存するデータファイル名を入力し、【保存】ボタンをクリックします。
 - ③しばらく待つと「3D マイホームデザイナーPRO」に間取りデータが読み込まれて保存され、保存完了のメッセージが表示されます。
- ※書き出しが正しく行えない場合は、「3DマイホームデザイナーPRO」が起動していない状態で、本システムを管理者として実行した上で再度書き出しを行ってください。

2-17 文字移動

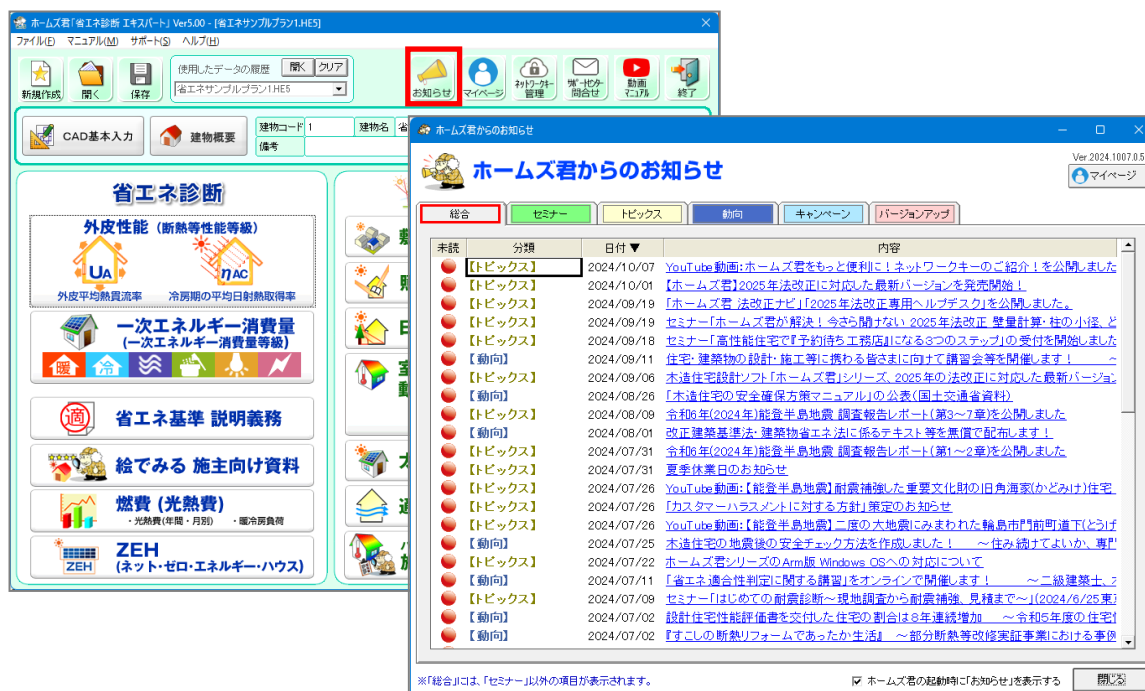


■操作方法

- ①各画面で、移動したい文字の上を右クリックします。
- ②文字が赤枠で表示されマウスに吸付きます。
- ③移動先で左クリックすると確定されます。

※移動した状態を全てリセットするには、【編集(E)】メニューの【文字位置リセット】を選択します。

2-18 お知らせ機能



■解説

バージョンアップ情報や、キャンペーン、セミナーなどのお知らせをインターネットを通じて提供します。

■操作方法

▼起動時に自動的に表示されます。

※起動時に表示したくない場合

お知らせ画面の「ホームズ君の起動時にお知らせを表示する」のチェックを外します。

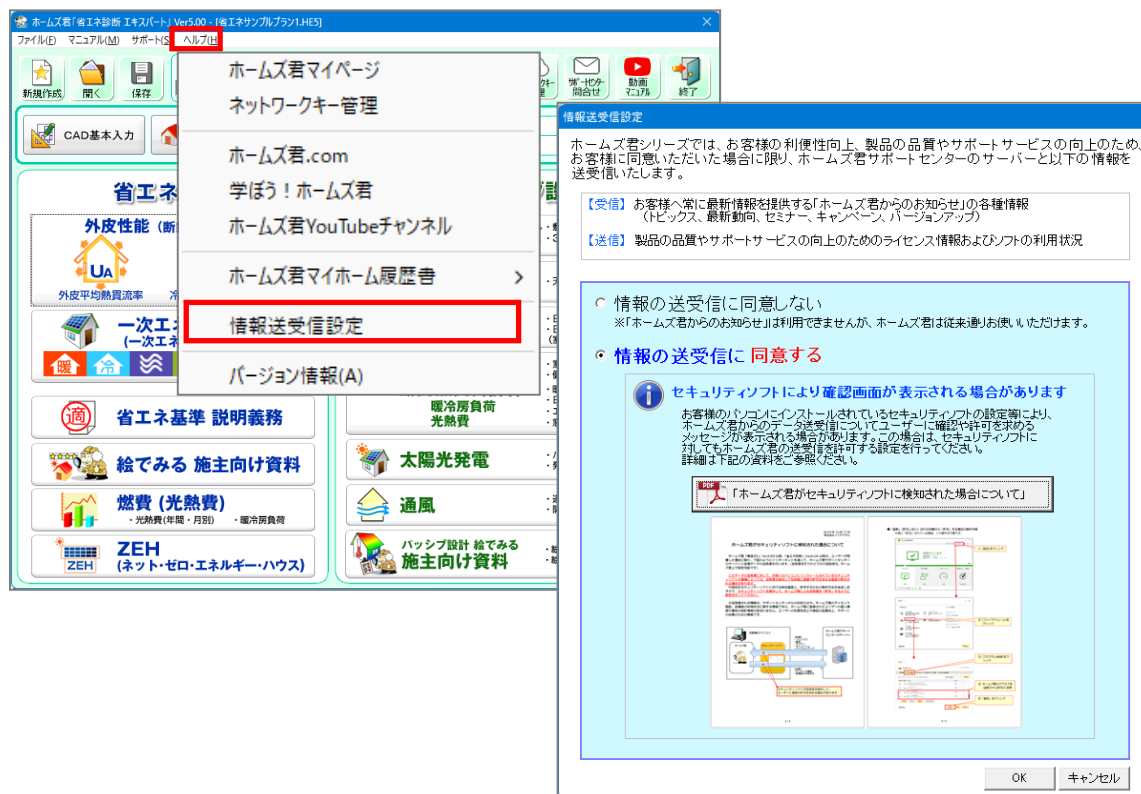
▼メインメニュー画面の「お知らせ」ボタンからも表示できます。

■注意

お使いのパソコンにインストールされているセキュリティソフトの種類によっては、お知らせ画面のプログラム (HomesNews.exe) によるデータ通信について、利用者に確認や許可を求める画面が表示される場合があります。

セキュリティソフトに対しても通信を許可するよう設定を行ってください。

2-19 情報送受信設定



■解説

Ver4.04 より、お客様の利便性向上、製品の品質向上やサポートサービスの向上のため、お客様に同意いただいた場合に限り、ホームズ君サポートセンターのサーバーと以下の情報を送受信します。

- 【受信】 お客様へ常に最新情報を提供する「ホームズ君からのお知らせ」の各種情報
(トピックス、最新情報、セミナー、キャンペーン、バージョンアップ)
- 【送信】 製品の品質やサポートサービスの向上のためのライセンス情報およびソフトの利用状況

※Ver4.04 のインストール後にホームズ君を起動した際に上記の確認画面が表示されますので、「同意する」「同意しない」のいずれかを選択してください。

※この設定はメインメニューの「ヘルプ」メニューからいつでも変更可能です。

■注意

お使いのパソコンにインストールされているセキュリティソフトの設定等により、ホームズ君のデータ送受信についてユーザーに確認や許可を求めるメッセージが表示される場合があります。この場合は、セキュリティソフトに対してもホームズ君の送受信を許可するよう設定を行ってください。

詳細は、情報送受信設定画面から参照できる下記の資料を参照してください。

「ホームズ君がセキュリティソフトに検知された場合について」

第3章 CAD 入力

- 3-1 建物概要
- 3-2 下絵読込を行う
- 3-3 壁の入力
- 3-4 部屋名称
- 3-5 開口部
- 3-6 屋根（手入力・編集）
- 3-7 バルコニー、小屋裏収納
- 3-8 吹出し
- 3-9 画像追加
- 3-10 寸法線
- 3-11 3D 確認

3-1 建物概要

建物概要 - 省エネサンプルプラン1.HEO

表示プラン プラン1 | 作成日: 2017/12/01 | 更新日: 2020/12/21 | データVer: 4.18

方位、省エネ基準 地域選択、パッシブ設計 地域選択は各プラン毎に値を設定することができます。

建物情報

建物名:

建物コード:

【注意】
建物名、建物コードを変更しても別名保存はなりません。
別名保存するには「保存画面」でファイル名を変更してください。

備考:

入力者:

建築地名:

階数: 平屋 2階建て 3階建て

寸法情報

モジュール幅(mm):

※CAD入力済のため変更できません。

方位

北の方位角度: 度

省エネ基準 地域選択

地域区分 **5** 年間日射 **A3** 暖房期日射 **H4** 地域区分

都道府県:

市町村: つくば市(旧つくば市)(5)

パッシブ設計 地域選択

参考

気象ビューア 標準年拡張7月入 2010版

気象ビューア 気象庁HP 2018年

都道府県: 地図から選択

観測点:

通芯設定

寸法情報、通芯設定を既定値として保存

OK キャンセル

■解説

[建物情報]

- ▼建物名 必ず入力して下さい。
- ▼建物コード 必ず6桁以内の半角数字を入力して下さい。
- ▼備考、入力者、建築地名 必要に応じて入力して下さい。
- ▼階数 設計する建物の階数を選択して下さい。

[寸法情報]

- ▼モジュール幅 CAD画面で壁が入力されると、変更出来なくなります。

[方位]

- ・「北」に該当する方位の角度を設定します。真上方向を0度とし、角度を手入力します。
- ・方位は冷房期の平均日射熱取得率（ η_{AC} 値）の算定および、パッシブ設計の太陽軌道計算に用いられます。

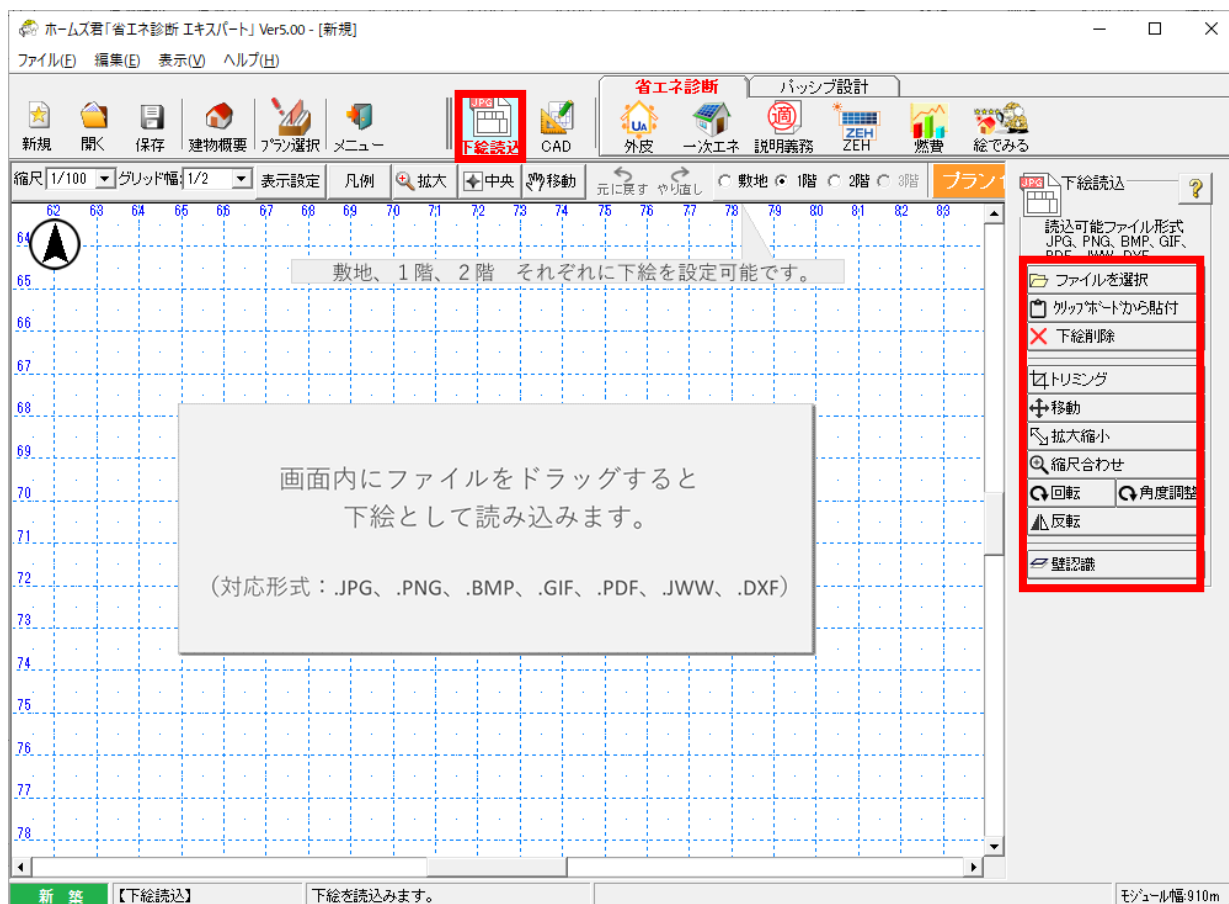
[地域選択]

- ・改正建築物省エネ法「新地域区分」（2019年11月16日施行）に対応しています。
- ▼地域区分 建築地の市町村を選択します。外皮・一次エネルギー計算に使用します。
- ▼パッシブ設計 気象観測点を選択します。パッシブ設計オプションで使用します。

[通芯設定]

通芯の設定画面を表示します。設定画面では通芯の開始位置、記号の設定が可能です。

3-2 下絵読込



■解説

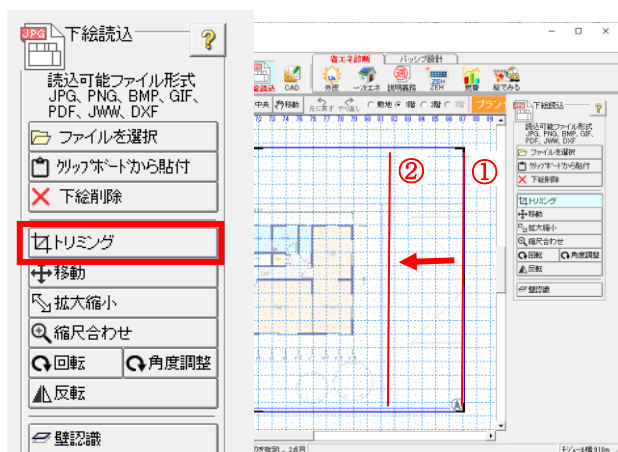
画像ファイルや、画面をコピーしたクリップボード情報を、下絵として読み込むことができます。
下絵は敷地、1階、2階、3階それぞれに読み込むことができます。

■操作方法

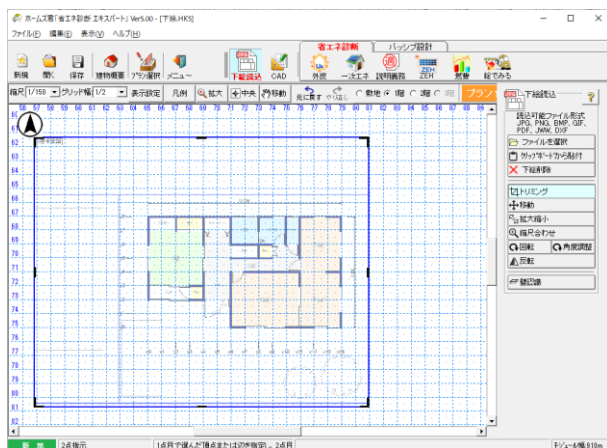
メインメニュー画面またはモードツールバーの「下絵読込」を選択します。

- 「ファイルを選択」ボタンをクリックすると、画像ファイルを選択できます。
読込可能なファイル形式は、JPG、PNG、BMP、GIF、PDF、JWW、DXFです。
- 画像ファイルを直接画面上にドラッグすることで、画像を読み込むこともできます。
- Alt+PrintScreen や Windows+Shift+S でウィンドウをコピーした後に、「クリップボードから貼付」ボタンをクリックすると、下絵として表示することができます。
- 「下絵削除」ボタンをクリックすると、下絵を削除することができます。
- 読み込んだ下絵の操作については、「3-2-1 トリミング」～「3-2-6 壁認識」を参照してください。下絵の各操作は、CAD 入力画面の下絵を右クリックすることでも使用可能です。

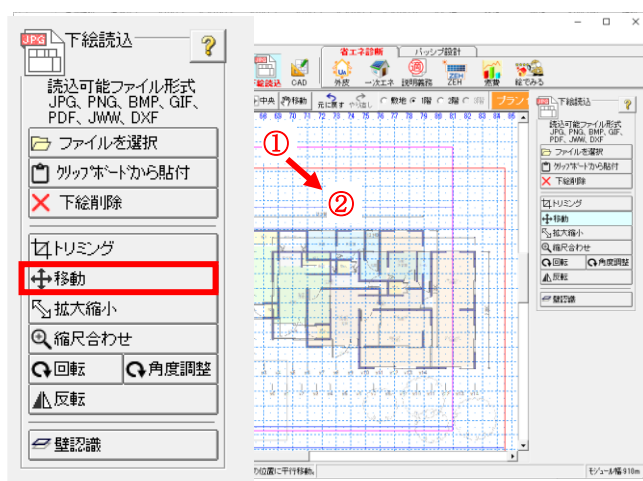
3-2-1 トリミング



- ▼入力方法（2点入力）
- 1 点目：枠の辺または頂点を
選択します。
 - 2 点目：切り取り範囲を確定します。



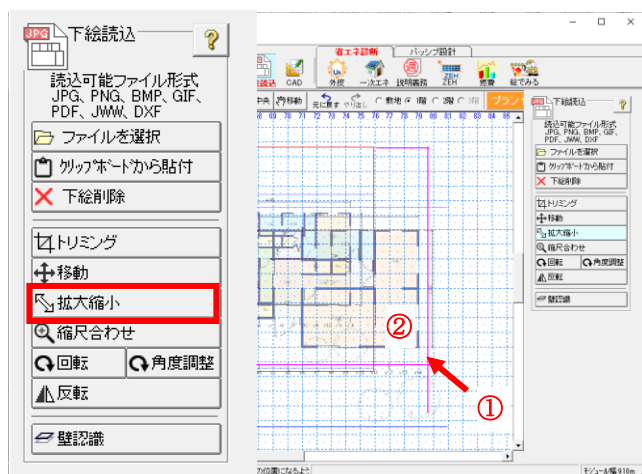
3-2-2 移動



- ▼入力方法
- 1 点目：下絵をクリックします。
 - 2 点目：下絵の移動位置を確定します。

3-2-3 縮尺の変更

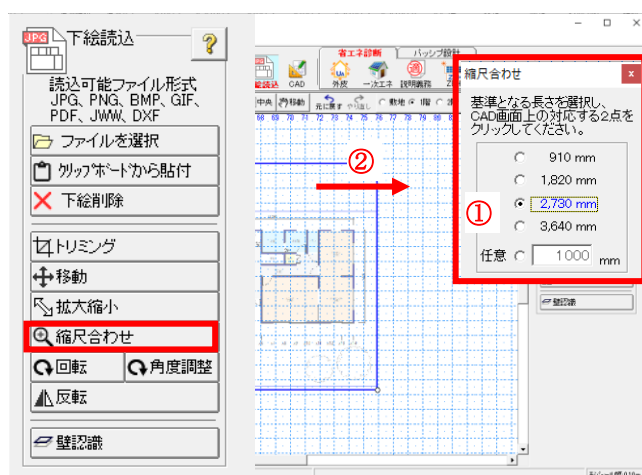
拡大縮小



▼入力方法

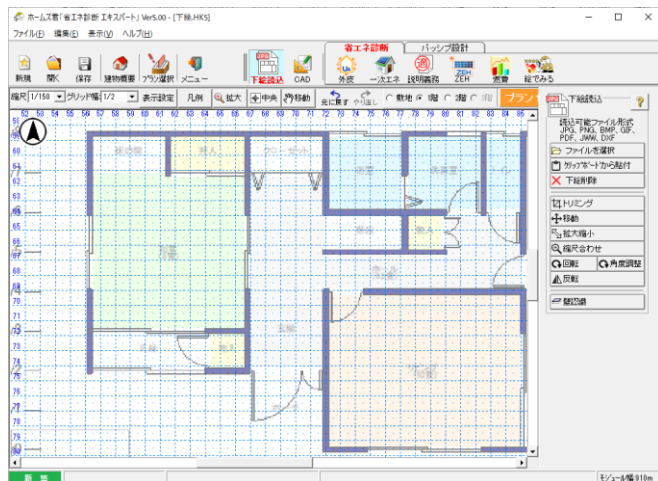
- 1点目：下絵の角をクリックします。
- 2点目：下絵の大きさを確定します。

縮尺合わせ



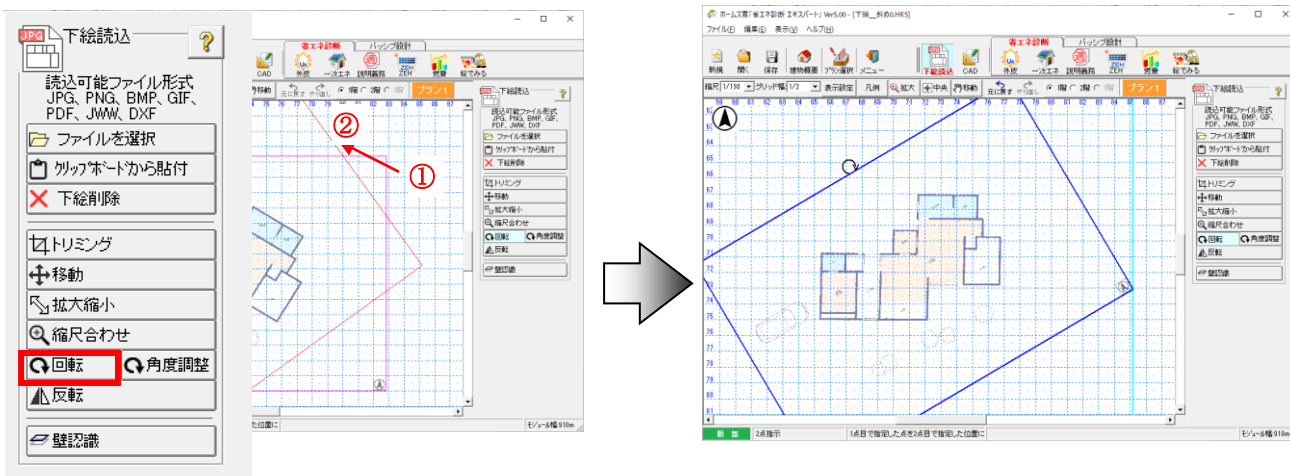
▼入力方法

- 基準となる値を選択、又は任意で入力して値を設定します。
- 設定した基準の長さに合わせる線分を2点をクリックで指定することで、縮尺が設定されます。



3-2-4 角度の変更

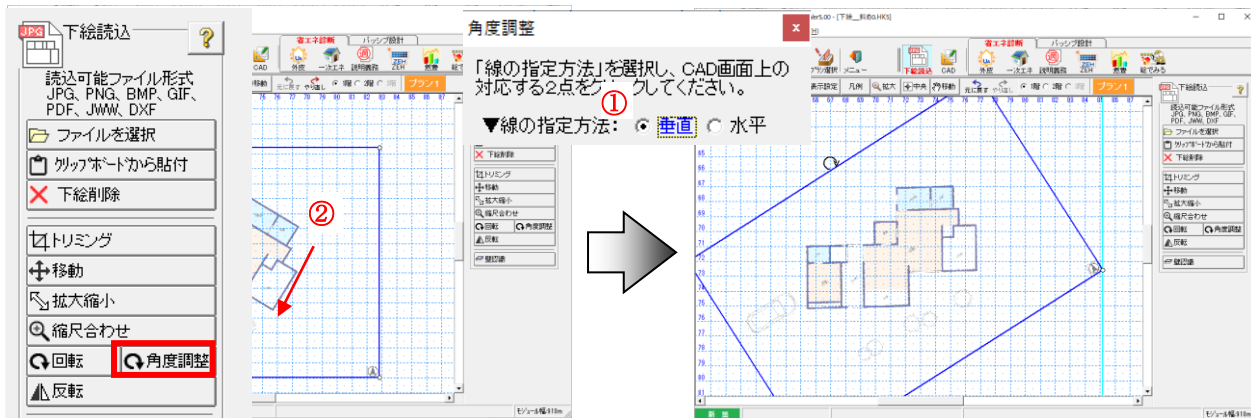
回転



▼入力方法

- 1点目：下絵をクリックします。
- 2点目：下絵の角度を確定します。

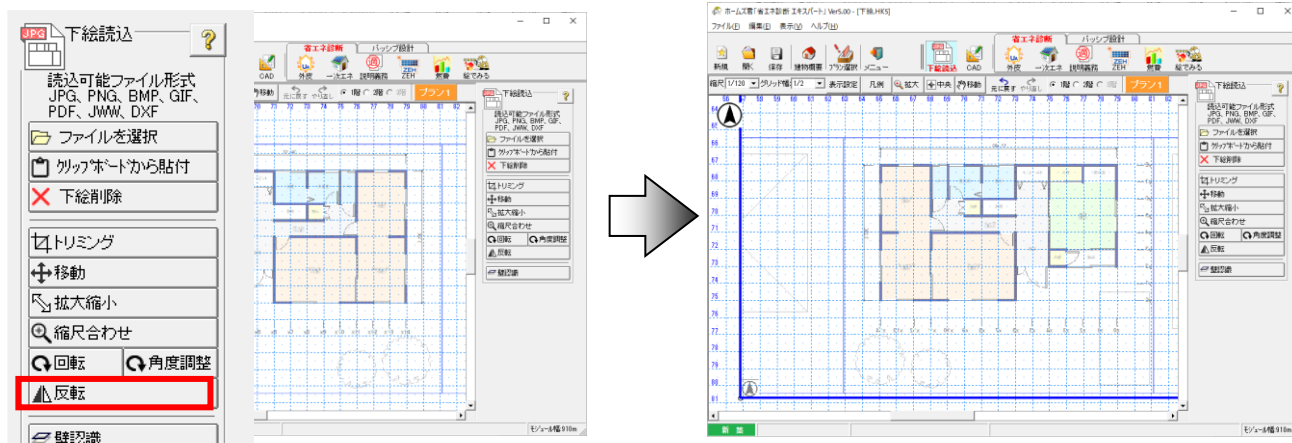
角度調整



▼入力方法

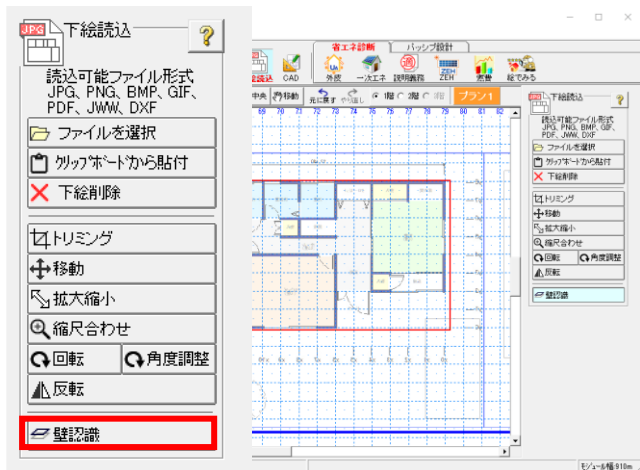
- 垂直線か水平線かを選択します。
- 下絵に対して正しい垂直線又は水平線を2点クリックで指定します
 - 1点目：水平になる線分の左側、または垂直になる線分の上側の点を指定します。
 - 2点目：水平になる線分の右側、または垂直になる線分の下側の点を指定します。

3-2-5 反転



▼入力方法
反転ボタンをクリックすると、下絵が左右反転されます。

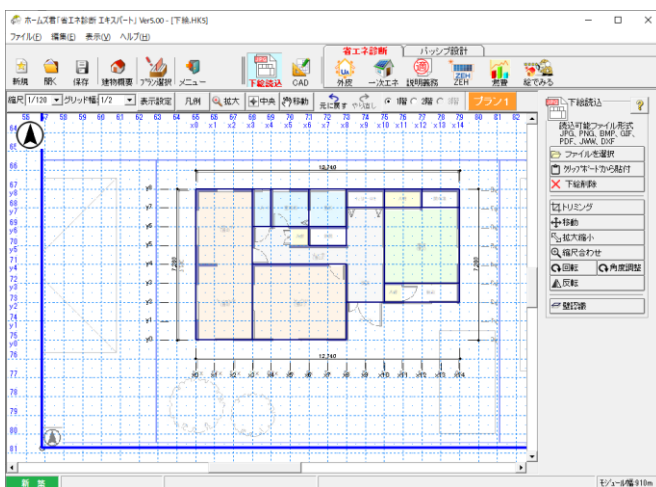
3-2-6 壁認識



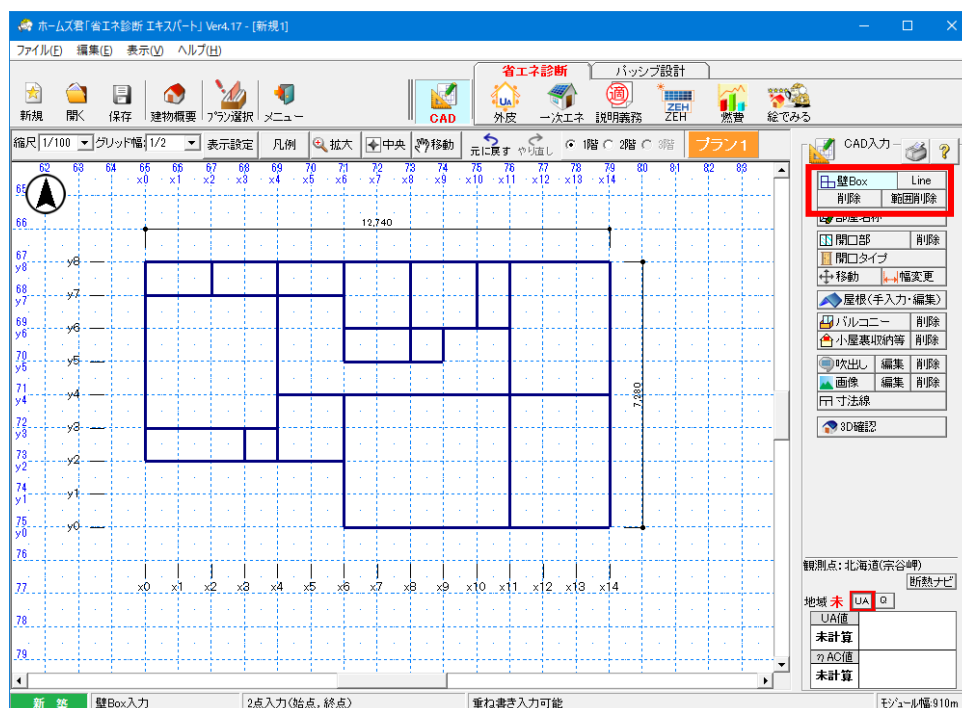
- ▼入力方法
- 下絵の自宅の範囲をBOX入力します。
 - 結果の候補が現れるので適したものを
選択してください。
 - 選択した結果が壁としてCADに
入力されます。



- 💡 A : 外壁のみ自動認識したものです。
B~D : 外壁および内壁を自動認識したものを
3パターン表示したものです。
実状に近いものを選択してください。



3-3 壁の入力



■操作方法

- ・【壁 Box】は、2点入力です。
 ※対角にクリックすると「矩形」が描けます。
 ※平行（垂直）にクリックすると「直線」が描けます。
- ・【Line】は、2点入力です。
 ※斜めの壁を描くことができます。
- ・【削除】は、2点入力です。
- ・【範囲削除】は BOX で囲んだ範囲の壁を全て削除します。

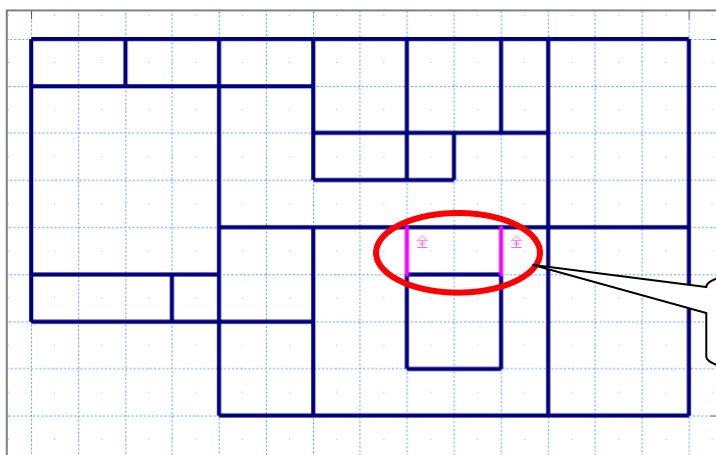
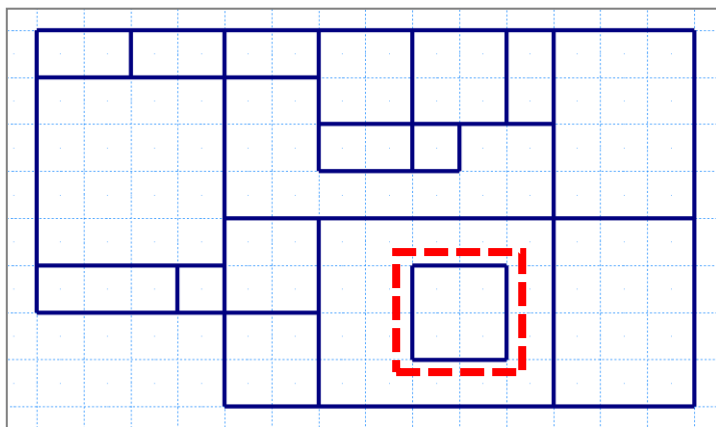
■入力のポイント

- ・間取りを書くイメージで、部屋が壁で閉じられるように入力します。
- ・開口がある部分も含めて、壁を入力します。
- ・基礎の無い出窓は、省略してもかまいません。
- ・壁は重ね書きをしても問題ありません。
- ・間崩れ壁がある場合の入力方法は、「補助線追加、削除」、「補助点追加」、「モジュール幅部分変更」を参照ください。

次ページに続く

「3-3 壁の入力」の続き

- 下図のように、部屋の中央にいずれの壁とも繋がらない部分（中央部分の階段など）がある場合は、「部屋区画が2つ以上に分かれているため・・・」と注意メッセージが表示され、計算が行えません。
この場合は、該当部分を「全開口」で繋げることで、解消できます。



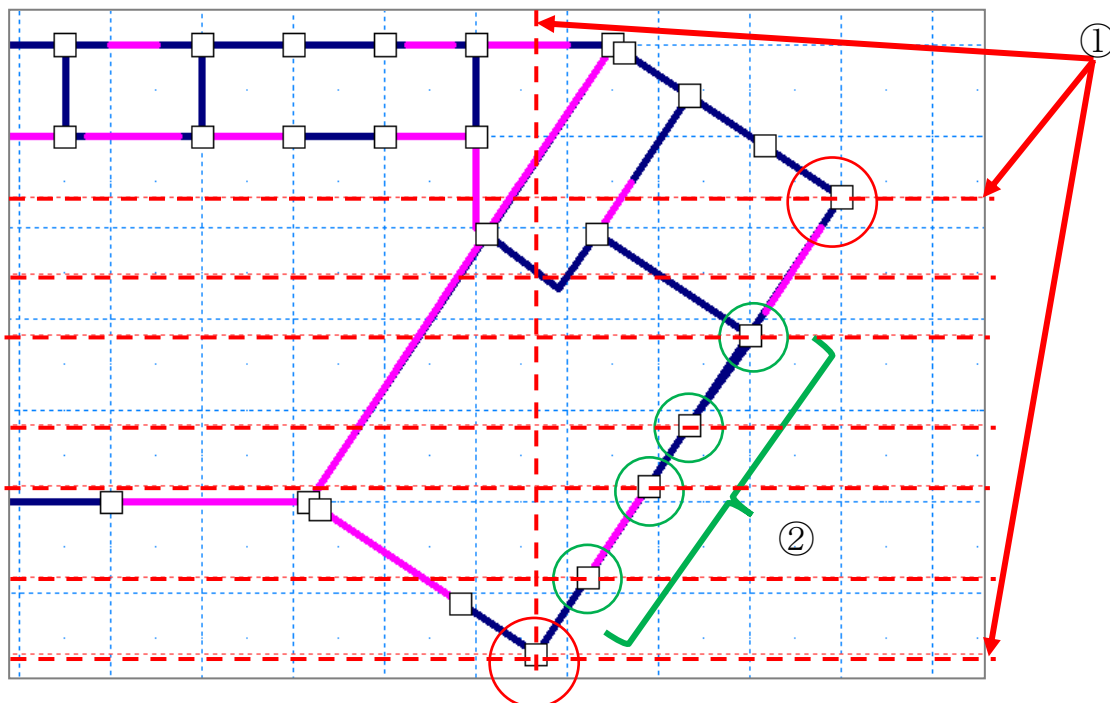
全開口を入力し、他の壁と2箇所以上で繋がった状態にします。

次ページに続く

「3-3 壁の入力」の続き

■斜め壁の入力と、斜め壁上の柱や開口部の入力

斜め壁をずれなく入力するためには、端部位置をどのように押さえるかが重要になります。下記の手順に沿って入力いただくと、ずれなく入力することができます。

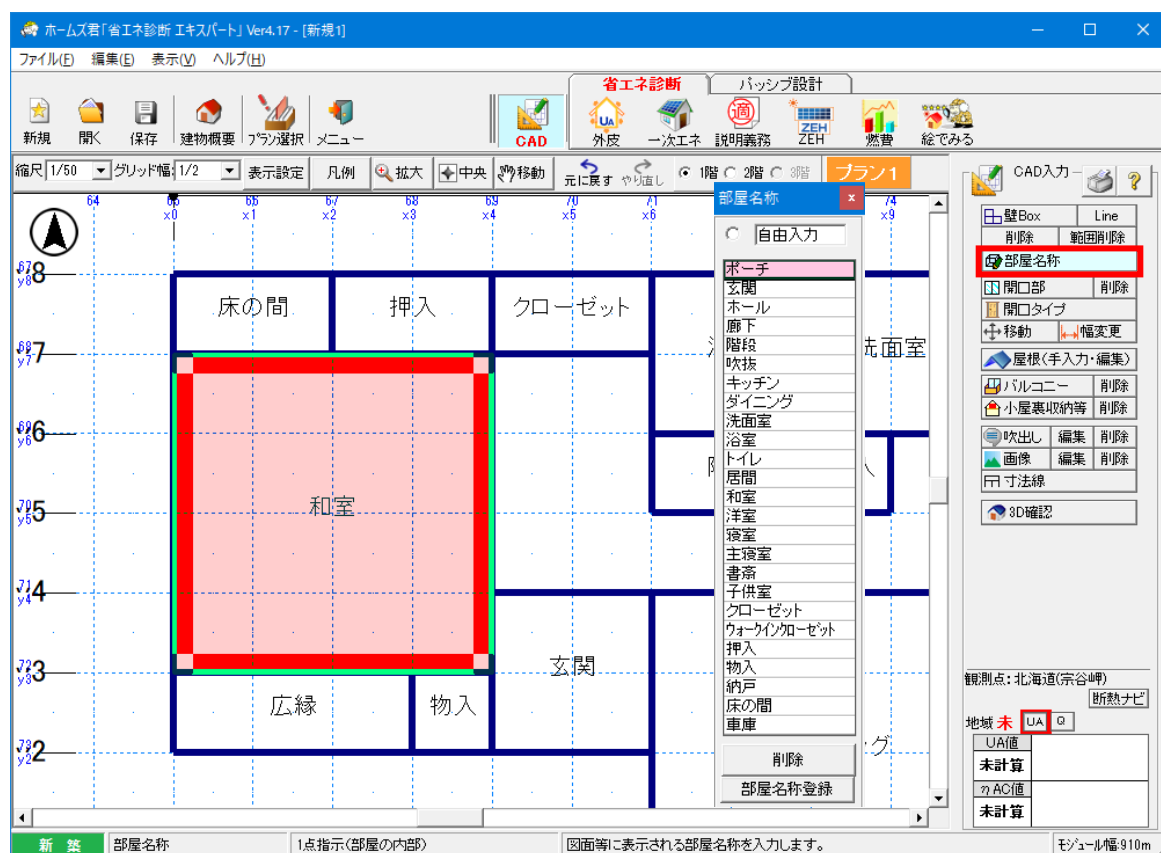


- ①「補助線追加」や「補助点追加」で斜め壁端部の座標を確定します。
- ②斜め壁と交差するように、X方向（またはY方向のいずれか）に補助線を追加します。
斜め壁と補助線の交点は、その座標を拾うことができますので、その位置に柱や、開口部、耐力壁の端部を入力します。

＜注意点＞

グリッド分割（1/2や1/10など）による入力は、微細な入力ずれが起きやすいため、斜め壁の入力時は使用しないことをお勧めします。

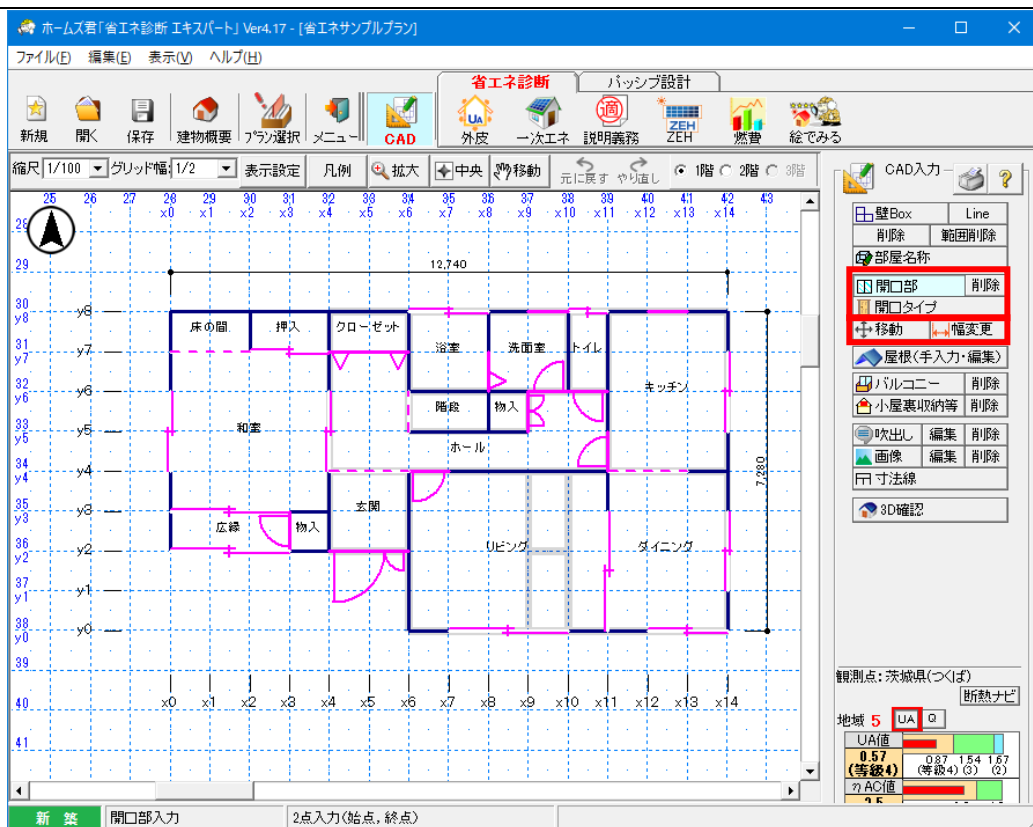
3-4 部屋名称



■操作方法

- 1点入力です。
- 「部屋名称」を一覧から選択し、対象となる部屋の内部をクリックします。
- 任意の名称を設定することも可能です。
- 部屋名を削除する場合は【削除】ボタンクリック後、対象の部屋内部をクリックします。

3-5 開口部



次ページ

■解説

- 外壁に接する開口部を入力すると、省エネ等級判定が行えます。
- 開口寸法等の詳細な仕様は、外皮モードで入力します。
- 内部の開口部も入力すると、通風シミュレーションが行えます。

■操作方法

▼開口部

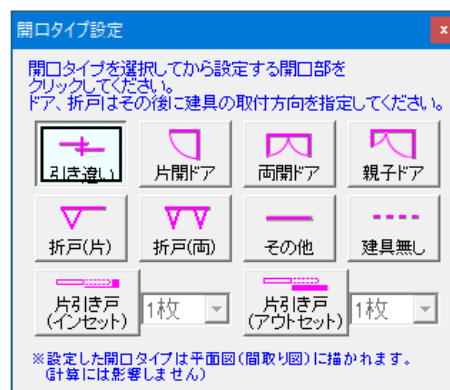
- 「開口部」をクリック後、壁上を2点クリックします。
- ドアや窓を区別する必要はありません。

▼削除

- 「削除」をクリック後、対象の開口部をクリックします。
- ※開口部を削除しても、壁は残ります。

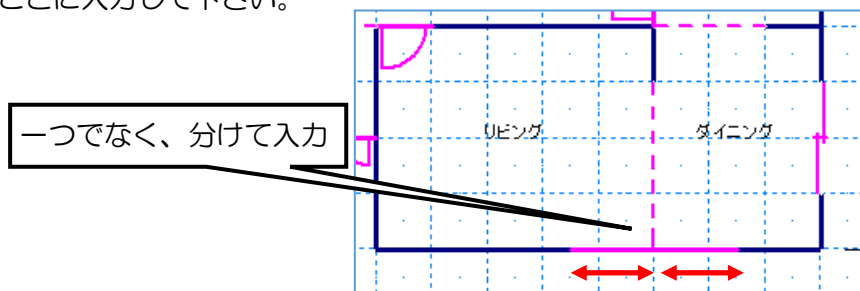
▼開口タイプ

- 開口部の設定後に選択します。
- 3D確認画面用で、外皮計算には影響しません。



■ポイント

- 部屋をまたいだ開口部を入力すると、通風シミュレーションを行えません。開口部は部屋ごとに入力して下さい。

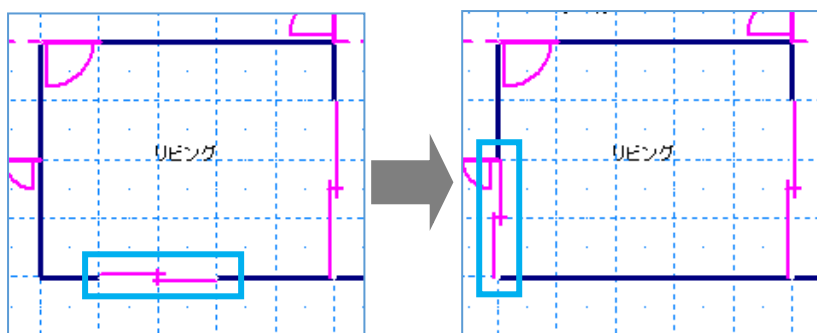


開口部 ■操作方法 (続き)

▼移動

入力した開口部を移動します。縦横にも移動できます。

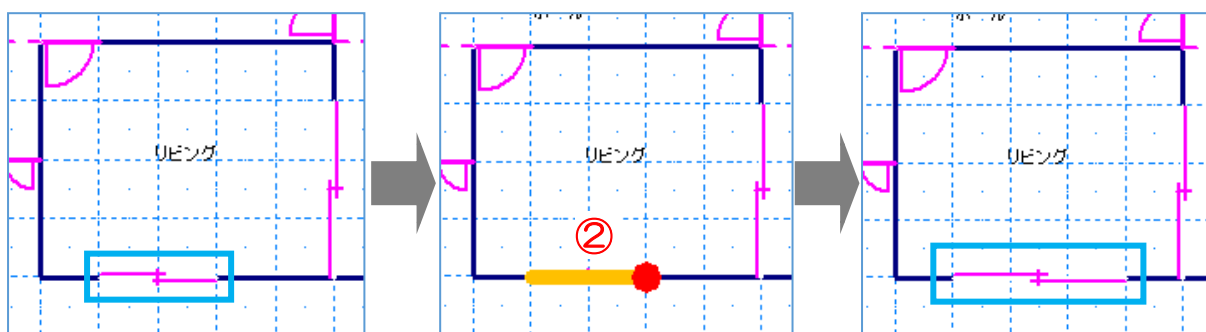
- ①「移動」をクリックします。
- ②開口部をクリックし、移動先で再びクリックします。



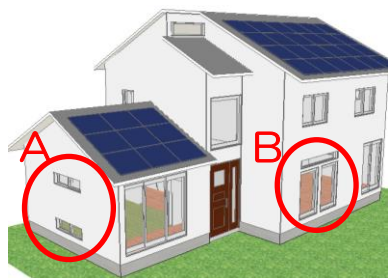
▼幅変更

入力した開口部の幅を変更できます。

- ①「幅変更」をクリックします。
- ②開口部にマウスオーバーすると、図のように色が変わります。
(左に動かすと、左端が赤丸になります)
- ③赤丸をクリックし、変更したい幅で再びクリックします。

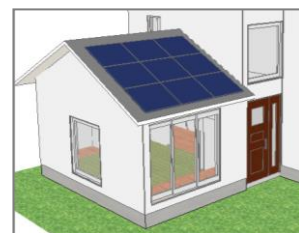
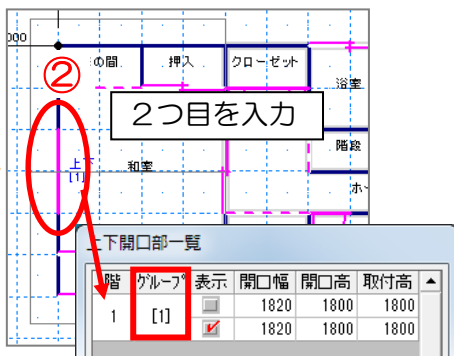
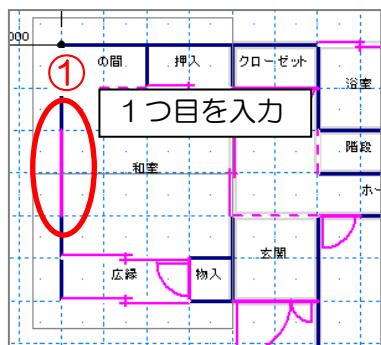


■平面上の同じ位置に高さの異なる窓を入力する



左図のA、Bのように、平面上の同じ位置の上下に窓を入力することができます。Bのように上段に1つ、下段に2つの窓を並べるなど、様々な組み合わせで入力できます。

以下では、Aの箇所を例に入力方法を示します。



※この時点で2つの窓が入力されていますが、寸法の指定を変更していないため、上図のように同じ位置に重なって描画されます。

1) 1つ目の開口部の位置（ライン）を入力します。

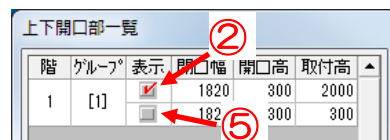
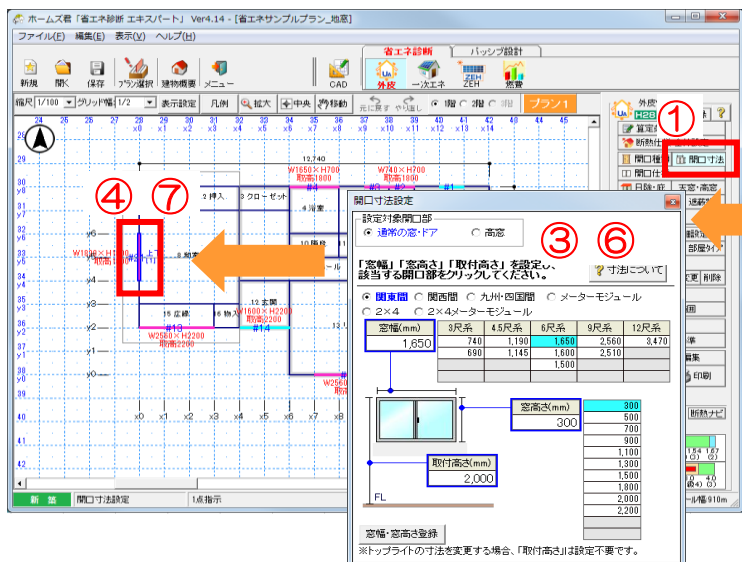
2) 入力済みのラインに重ねて、2つ目の開口部の位置（ライン）を入力します。

→ 位置が重なる開口部は同じグループに分類されます。（「上下[1]」の1はグループ番号）

※「上下開口部一覧ウィンドウ」で、同じグループ内のどの窓をCAD上に表示するかを切り替えます。

※「上下開口部一覧ウィンドウ」は、位置が重なる窓が入力されている場合のみ表示されます。

開口部のサイズや取り付け位置を変更するには、「外皮計算」モードの「開口寸法」を入力します。（操作の詳細は「操作マニュアル（平成28年省エネ基準）」を参照ください。）



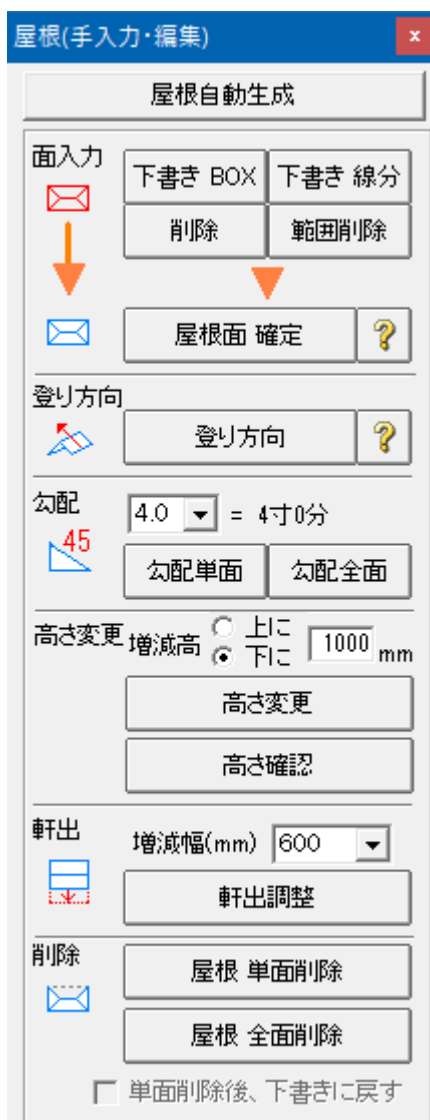
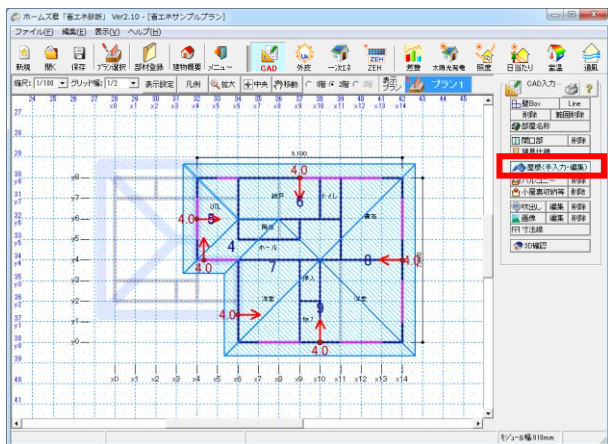
上下開口部一覧の操作（手順②⑤）では、2つの窓のどちらをCAD画面上に表示するかを切り替えます。手順④⑦で、クリックした開口部に対して開口寸法の入力内容が適用されます。

- 1) 「開口寸法」を選択します。
- 2) 上下開口部一覧のグループ[1]で、1つ目の窓を選択します。
- 3) 1つ目の窓の寸法・取り付け高さを入力します。
- 4) CAD画面で1つ目の窓をクリックします。
- 5) 上下開口部一覧のグループ[1]で、2つ目の窓を選択します。
- 6) 2つ目の窓の寸法・取り付け高さを入力します。
- 7) CAD画面で2つ目の窓をクリックします。

<重要>
CAD画面の開口部に関するすべての操作では、「上下開口部一覧」ウィンドウを操作することで、上下に並んだ窓のどれをCAD画面上に表示するかを切り替えられます。これはすべての画面において共通です。

3-6 屋根（手入力・編集）

「操作マニュアル(屋根入力)」もご覧ください。屋根の入力方法を、実例を通して解説しています。



■解説

■屋根自動生成

選択した屋根形状や軒の出、ケラバの出に応じて、屋根を自動生成します。

■面入力

▼下書きBOX、下書き線分

屋根下書き線を描きます。

▼削除、範囲削除

屋根下書き線を削除します。

▼屋根面確定

屋根下書き線で描かれた面を屋根として確定させます。

■登り方向

屋根に登り方向を設定します。

■勾配

▼勾配寸法

屋根勾配を設定します。

▼勾配単面

指定した屋根面に勾配を設定します。

▼勾配全面

作業中の階にあるすべての屋根面の勾配を設定します。

■高さ変更

高さの増減値を入力し、屋根の高さ位置を変更します。

■高さ確認

マウスカーソルで指定した屋根の任意の点の高さが画面上に表示されます。

■軒出

▼増減幅

軒先から伸ばす軒出長さを設定します。

▼軒出調整

屋根の軒出の長さの増減を行います。

■削除

▼屋根 単面削除

指定した屋根面を削除します。

▼屋根 全面削除

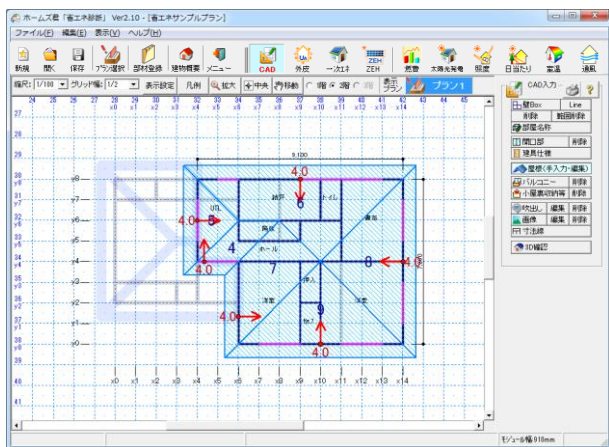
作業階の全ての屋根面を削除します。

▼単面削除後、下書きに戻す

指定した屋根面を下書き線に戻します。

次ページに続く

屋根面の入力



■解説

屋根の手入力は、

- ①「屋根下書き線の入力」
- ②「屋根面の確定」

の順で行います。

■屋根下書き線とは？

手書きで作図するような感覚で、屋根の入力が行えます。

形状が決まったら、屋根面確定ボタンをクリックするだけで下書き線を屋根面として自動認識します。

■屋根面確定とは？

屋根下書き線を屋根面として認識します。屋根下書き線の状態では、3D表示や数量算出の対象になりません。

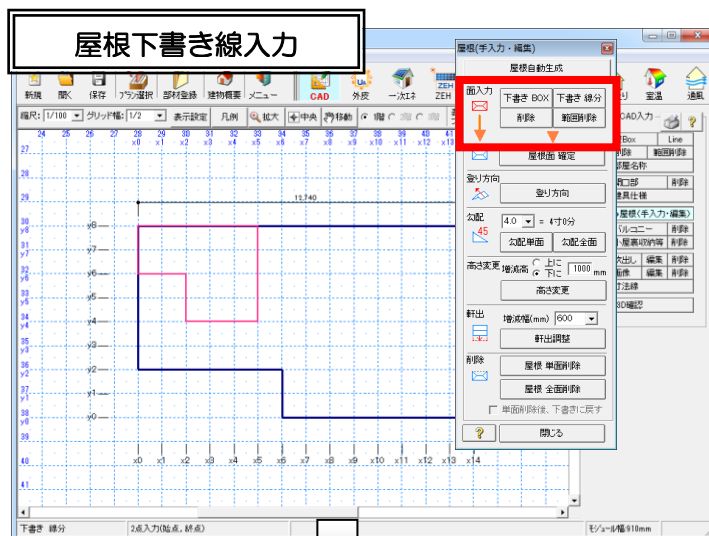


次ページに続く



■操作方法

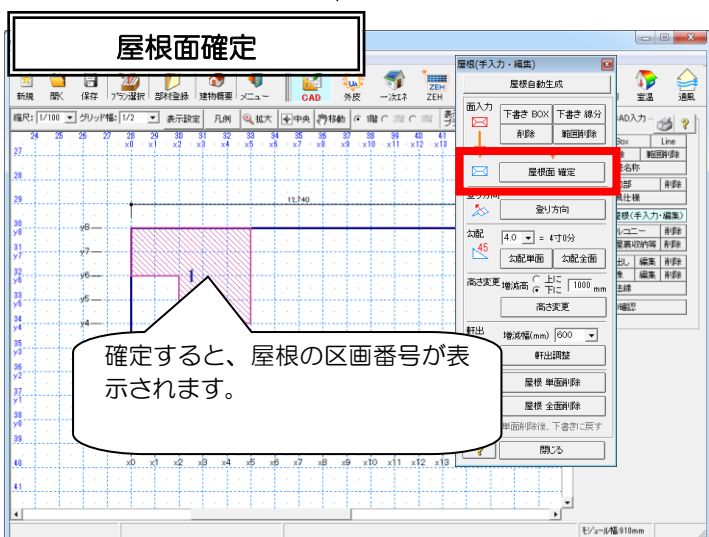
- ①屋根の下書き線を入力します。
 - ▼下書き BOX
BOX で指定した範囲に屋根面（下書き）を作成します。
 - ▼下書き線分
壁の【Line】入力と同様に屋根下書き線を入力します
※斜め線も入力できます。
 - ▼下書き線を削除する場合は
 - ・削除
 - ・範囲削除
 を使用します。



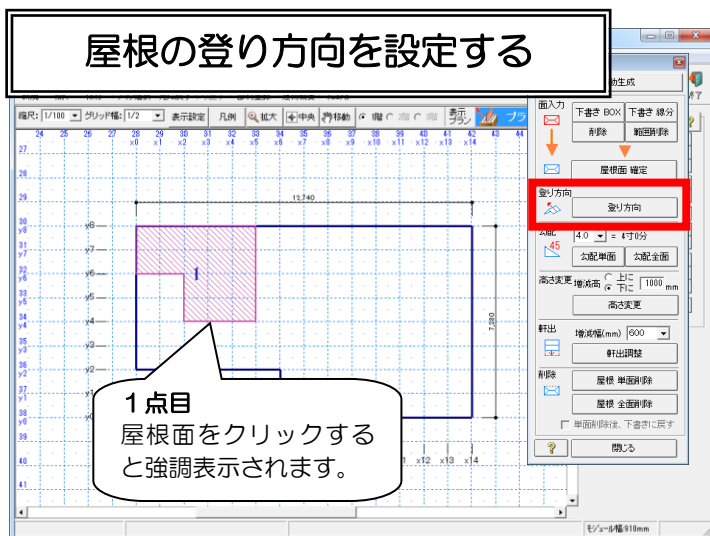
- ②屋根面の確定を行います。
屋根面確定ボタンをクリックすると、屋根下書き線を屋根面として、認識します。

<屋根面確定後の注意>

屋根面確定直後は、屋根の登り方向の設定が行われていないので、登り方向の設定を行ってください。
ピンク色で表示されている屋根面が、登り方向が設定されていない屋根面です。

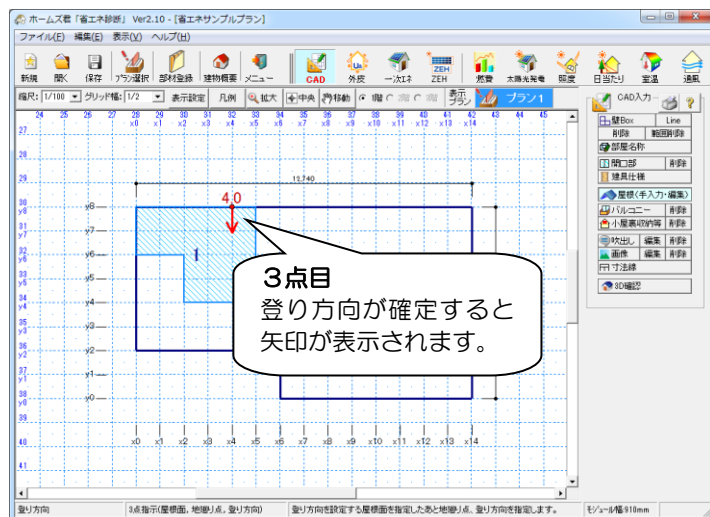
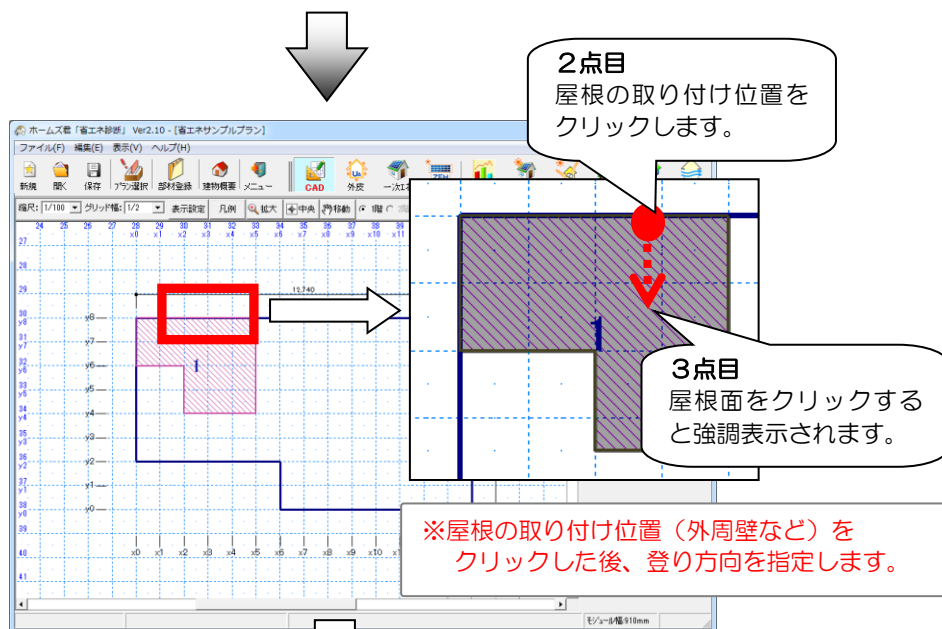


次ページに続く



■操作方法

- 3点入力です。
- ① 1点目：登り方向を設定する屋根面をクリックします。
- ② 2点目：屋根の取り付け位置（外周壁など）をクリックします。
- ③ 3点目：登り方向をマウスで指定します。



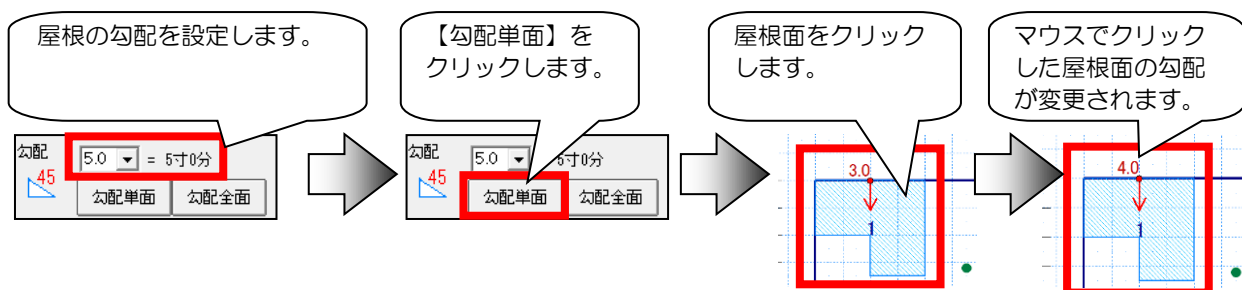


■解説

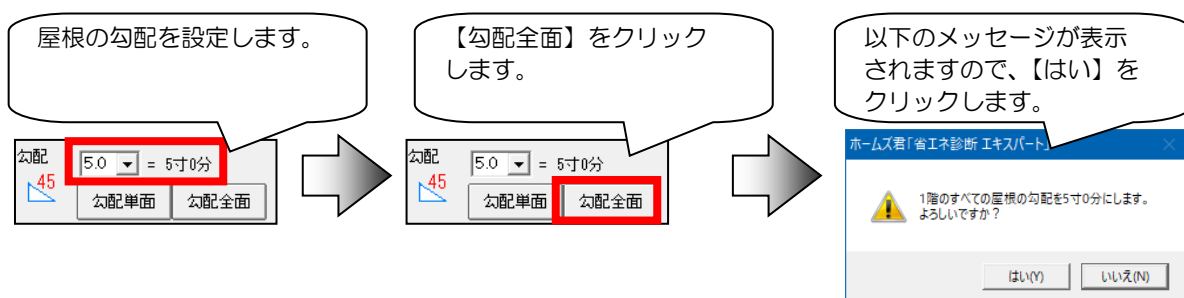
- 勾配 : 屋根の勾配を指定します。
- 勾配単面 : 指定した屋根面に勾配を設定します。
- 勾配全面 : 作業中の階にあるすべての屋根面の勾配を設定します。

■操作方法

屋根勾配一単面設定

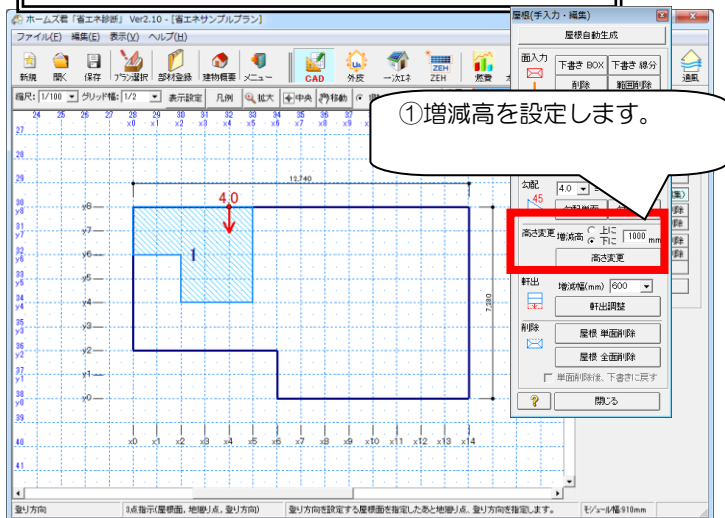


屋根勾配一全面設定



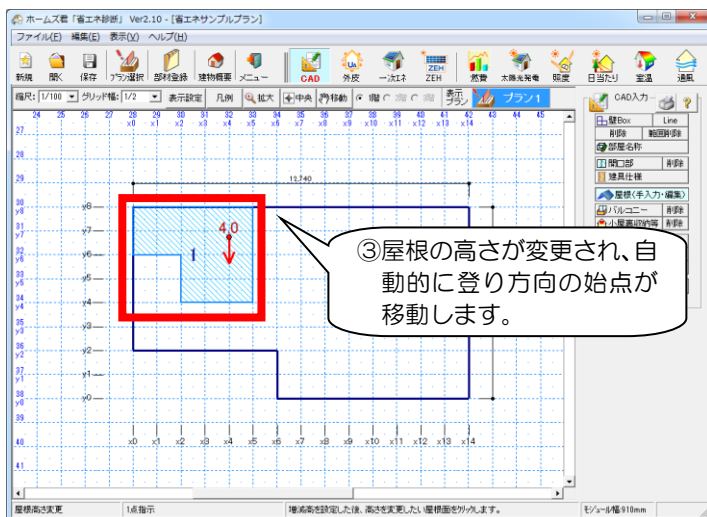
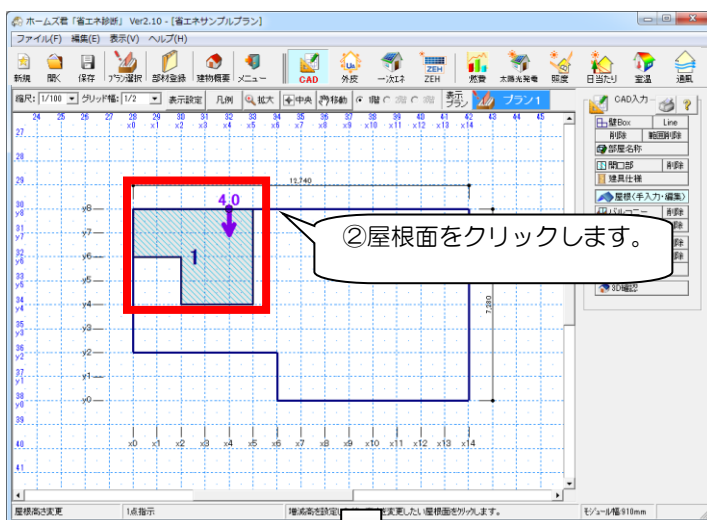
次ページに続く

屋根の高さを変更する



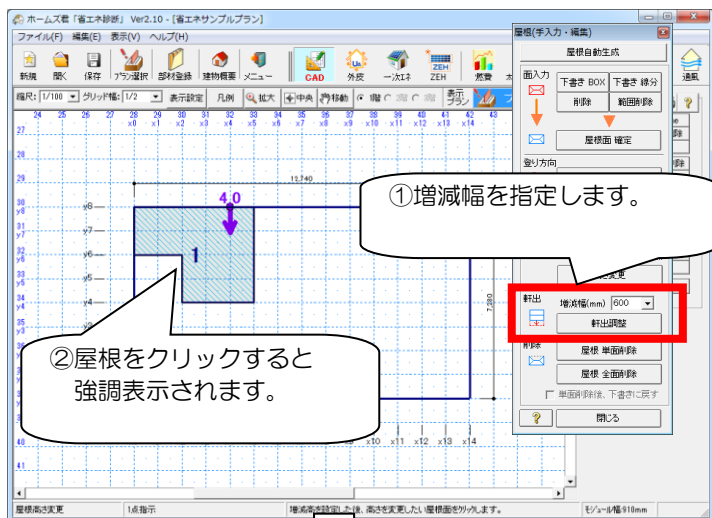
■操作方法

- ① 増減高(mm)の設定
高さ変更の方向(上/下)と、変更する高さを指定します。
- ② 「高さ変更」ボタンを押して変更する屋根面を指定します。
- ③ 変更した高さに応じて自動的に登り方向の始点が移動します。



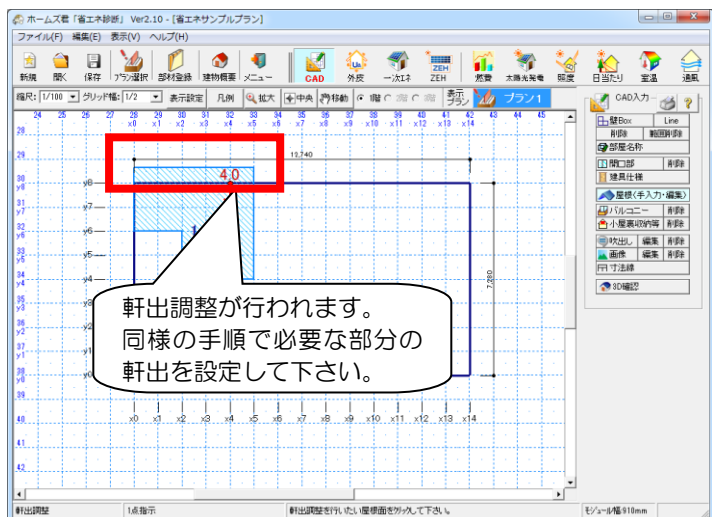
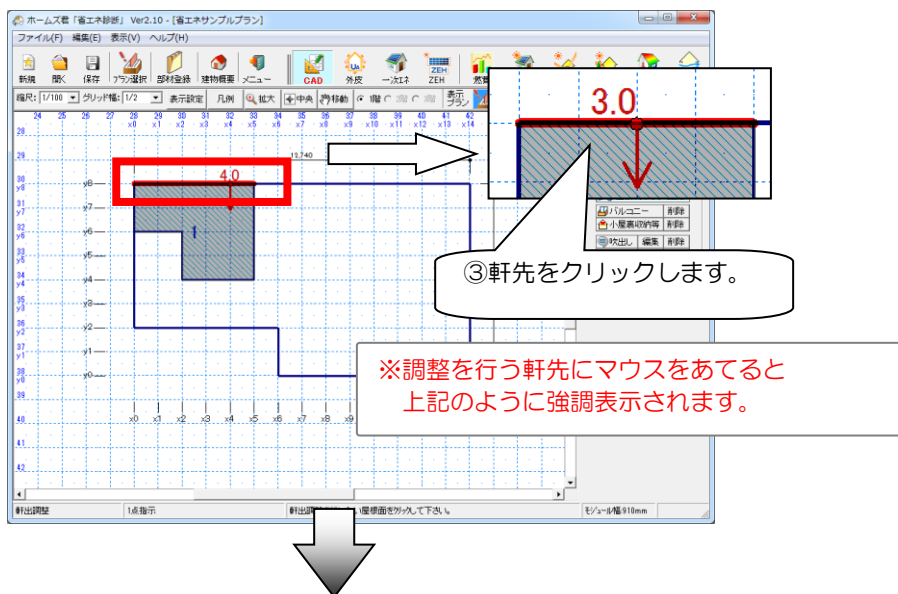
次ページに続く

屋根の軒出を設定する



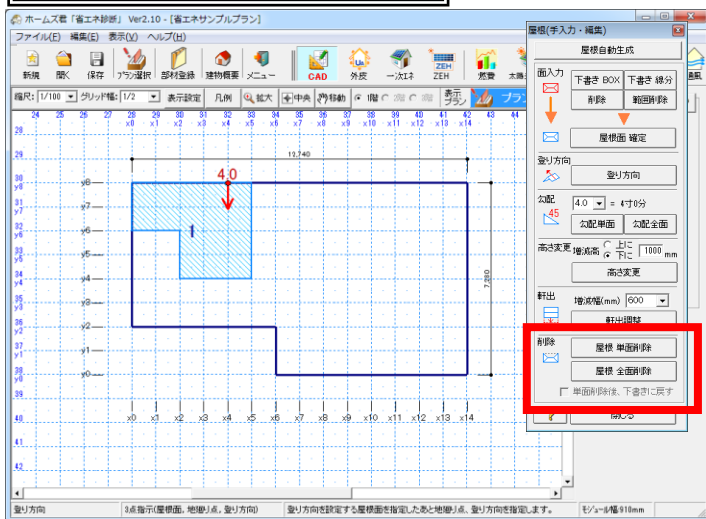
■操作方法

- ①増減幅(mm)の設定
軒先から伸ばす軒出の長さを指定します。
※軒出を短くする場合は増減幅にマイナスの数値を設定します。
- ②軒出の設定を行う屋根面を選択します。
- ③軒先を指定します。
※軒先にマウスをあわせると赤線で強調表示されます。



次ページに続く

屋根を削除する



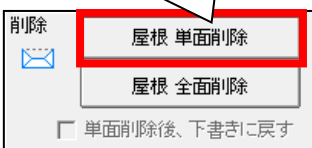
■解説

- 屋根 単面削除
屋根面をマウスで選択して削除します。
- 屋根 全面削除
現在の階の全ての屋根面を削除します。

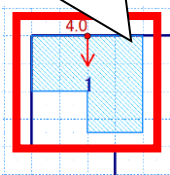
■操作方法

屋根の単面削除

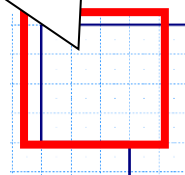
【屋根 単面削除】をクリックします。



削除する屋根面をクリックします。

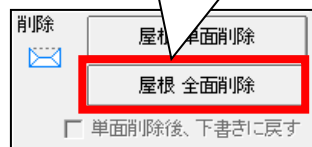


クリックされた屋根面が削除されます。

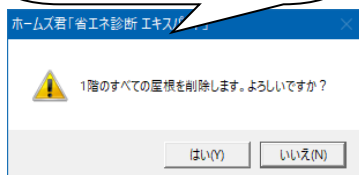


屋根の全面削除

【屋根 全面削除】をクリックします。

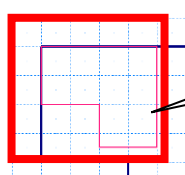
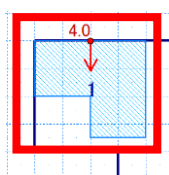
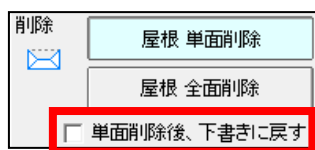


以下のメッセージが表示されますので、【はい】をクリックします。



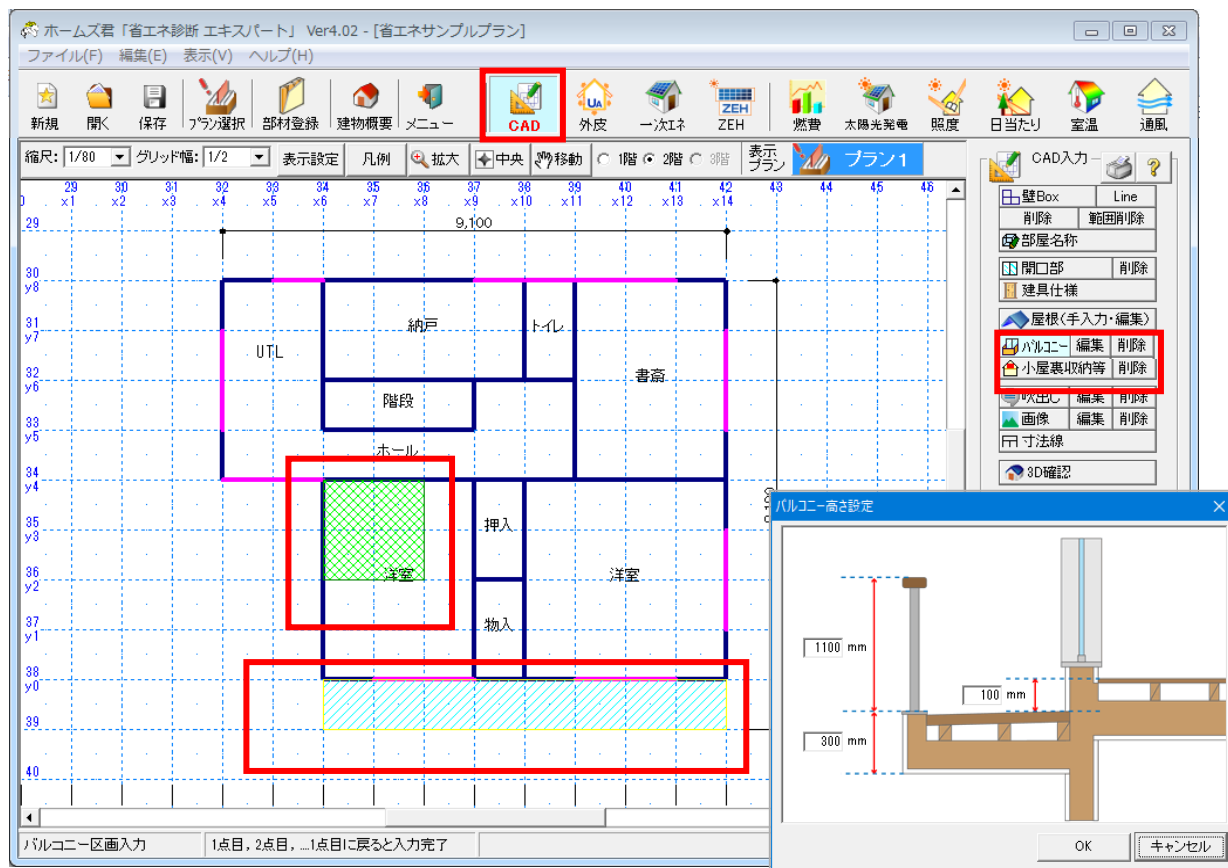
<屋根を下書き線に戻す方法>

【単面削除後、下書きに戻す】にチェックをつけてから、「屋根 単面削除」を行うと屋根を下書き線（ピンク線）に戻すことができます。



屋根が下書き線（ピンク線）に戻ります。

3-7 バルコニー、小屋裏収納



■解説

- ・バルコニー、及び小屋裏収納等の入力を行います。
- ・バルコニーは【編集】ボタンクリック後、高さを設定できます。
- ・削除する場合は【削除】ボタンクリック後、該当箇所をクリックします。

■操作方法

▼バルコニーの入力

- ①CAD画面の【バルコニー】をクリックします。
- ②マウスで多角形入力します。一点目に戻ると入力終了すると、バルコニーの高さ設定画面が開きます。
- ③バルコニーの手すり高さ等を入力し、OKをクリックします。

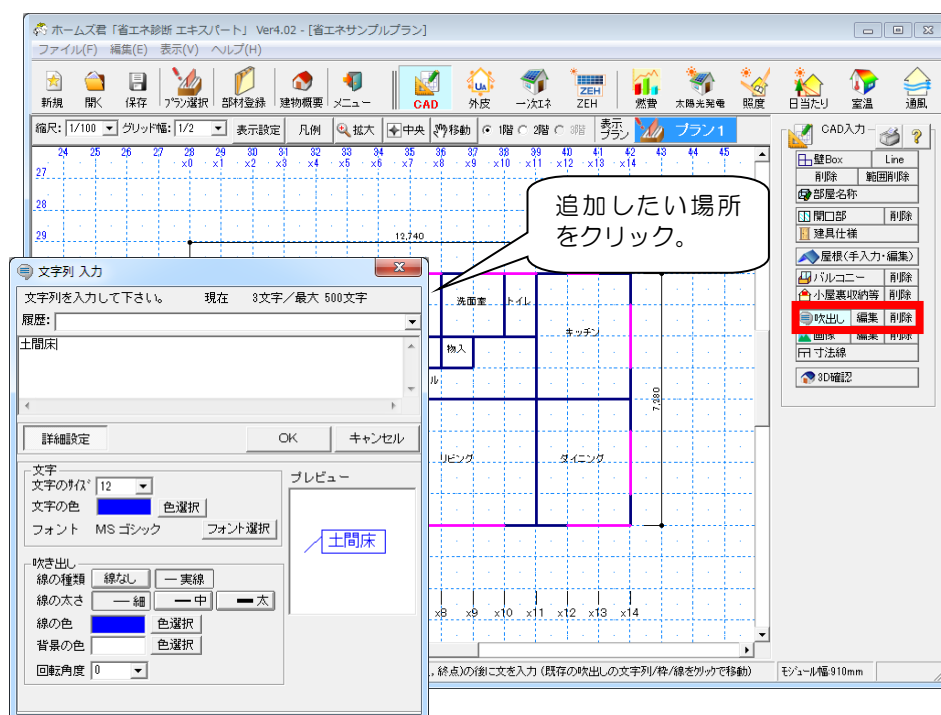
▼小屋裏収納等の入力

- ①マウスで多角形入力します。
- ②一点目に戻ると入力終了します。

■ポイント

- ・バルコニーの高さはパッシブ設計オプションの各シミュレーションに用いられます。

3-8 吹出し



■操作方法

▼入力

- ①CAD画面の【吹出し】ボタンをクリックします。
- ②吹出し線を2点入力すると、文字列入力ウィンドウが表示されます。
- ③任意の文字列を入力し、フォントや線の設定を行い、【OK】をクリックします。

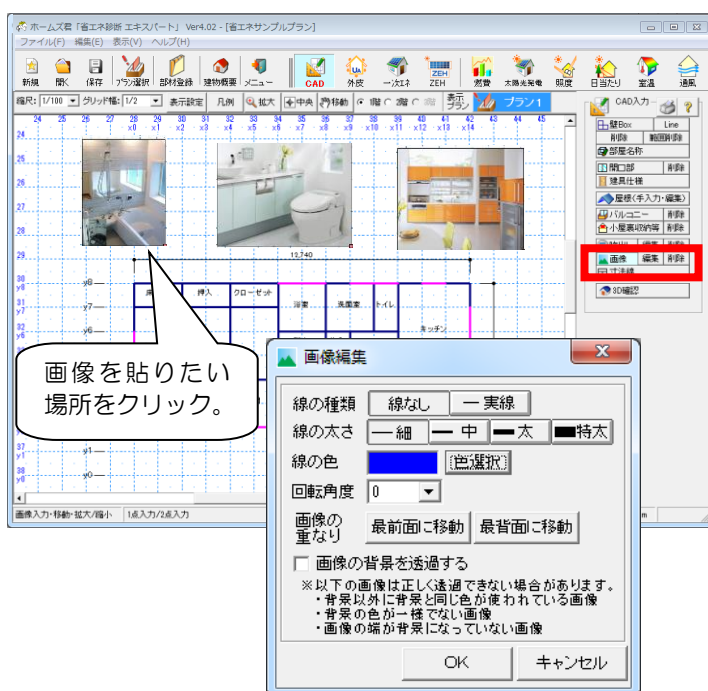
▼編集

- ・【編集】ボタンが押された状態で、対象の吹出しをクリックします。

▼移動方法

- ・【吹出し】ボタンが押された状態で、対象の吹出しをクリックします。
- ・BOX内をクリックするとBOXを移動、吹出し線をクリックすると線の開始位置を移動することができます。

3-9 画像追加



■操作方法

▼画像の追加方法

- ①CAD 画面の【画像】ボタンをクリックします。
- ②画像を追加したい場所でクリックします。 ⇒ 【画像の選択】画面が表示されます。
- ③追加したい画像ファイルを選択して、【開く】ボタンをクリックします。
- ④追加した画像の設定をします。(枠線、回転、重なりなど)

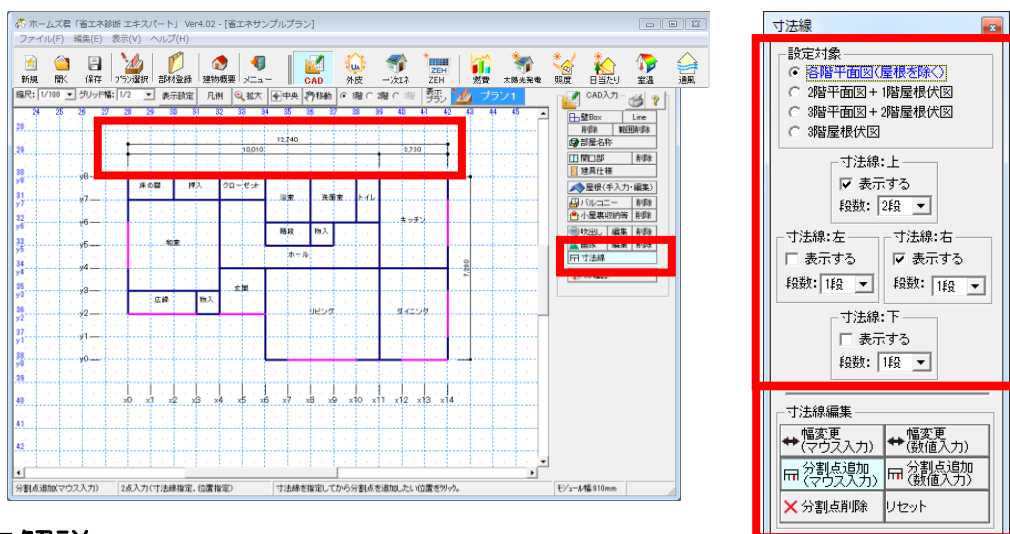
▼画像の移動、サイズ変更

- ①【画像】ボタンをクリックします。
- ②移動：画像の中心をクリックします。
- ③サイズ変更：画像右下のポインタをクリックします。

▼編集

- ①【編集】ボタンをクリックし、対象の画像をクリックします。
⇒【画像編集】ウィンドウが表示されます。

3-10 寸法線



■解説

- 表示されている寸法線の編集を行うことができます。
- 最高で6段まで表示することができます。

■操作方法

▼設定対象

寸法線設定を行う対象の図面を選択します。

- 平面図（間取り図・屋根伏図）に描かれる寸法線は、「2階平面図+1階屋根伏図」、「3階平面図+2階屋根伏図」、「3階屋根伏図」のそれぞれを選択して編集します。
- それ以外の図面に描かれる寸法線は「各階平面図（屋根を除く）」を選択して編集します。

▼寸法線の表示

- ① 上下左右の寸法線のうち、【表示する】にチェックを入れたものが表示されます。
- ② 【段数】（1～6段）を選択します。

▼寸法線編集

いずれかの編集機能を選択します。

▼分割点追加：寸法線上に分割点を追加します。分割点ごとに寸法を表示します。

- マウス入力
 - ① 寸法線をクリックします。
 - ② 分割点を追加したい位置をクリックします。
※②の前にマウスを右クリックすると、入力をキャンセルできます。
- 数値入力
 - ① 寸法線上の端点（分割点）をクリックします。
 - ② ①を基準点とし、分割点までの長さ（mm）を数値入力します。

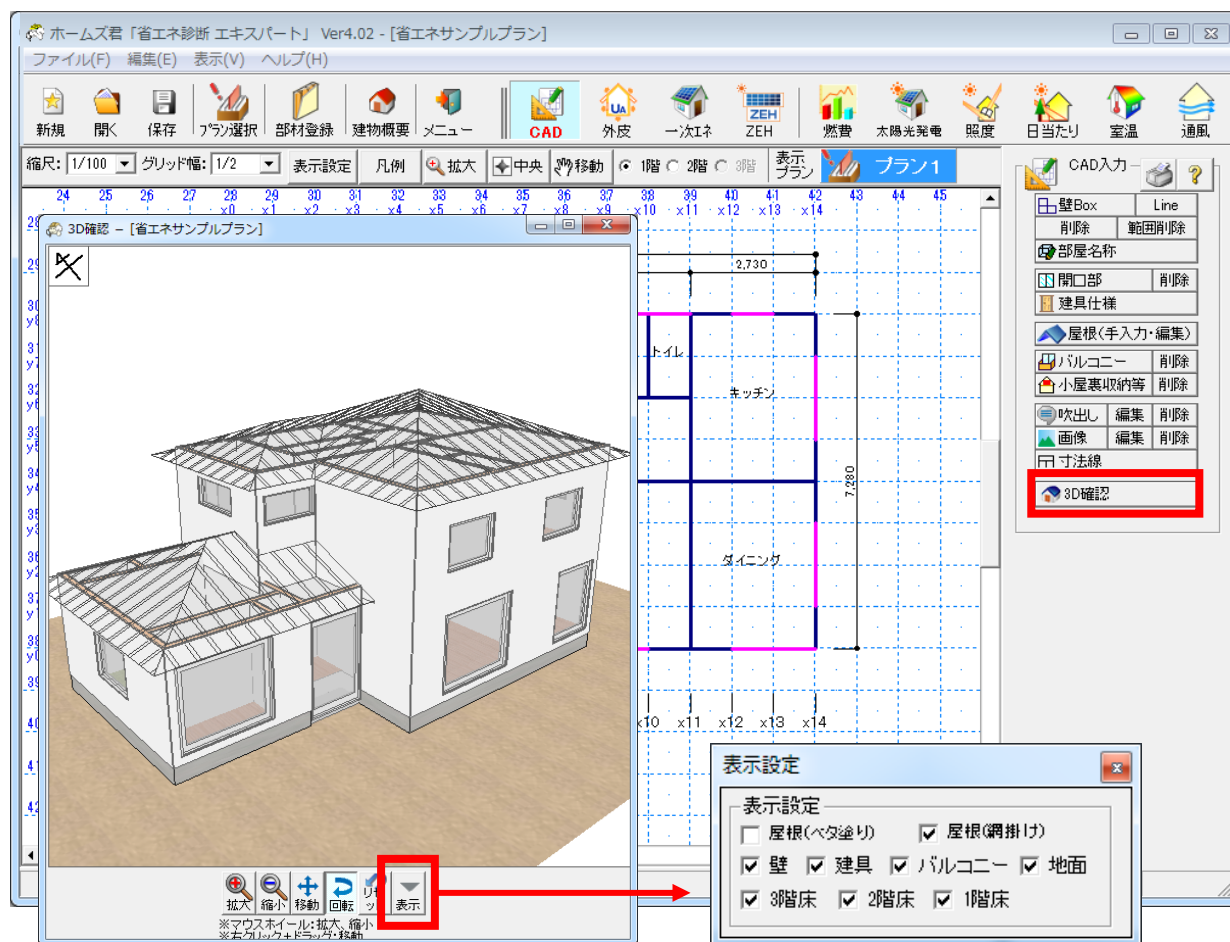
▼幅変更：端点、及び分割点の位置を移動させることができます。

- マウス入力
 - ① 寸法線上の端点（分割点）をクリックします。
 - ② マウスを移動して位置を変更します。
※②の前にマウスを右クリックすると、入力をキャンセルできます。
- 数値入力
 - ① 寸法線上の端点（分割点）をクリックします。
 - ② ①を基準点とし、移動幅を数値入力します。

▼分割点削除：追加した分割点を削除します。

▼リセット：寸法線を初期状態に戻します。
寸法線ごとにリセットすることができます。

3-11 3D 確認



■操作方法

▼ 3D 表示された建物の表示位置を任意に変更できます。

- ・【回転】：マウスドラッグで建物を回転させることができます。
- ・【移動】：マウスドラッグで建物を平行移動させることができます。
※「Shift キー」を押しながらマウスをドラッグしても移動させることができます。
- ・【拡大】：ボタンをクリックする度に 3D 表示されている建物を拡大します。
- ・【縮小】：ボタンをクリックする度に 3D 表示されている建物を縮小します。
※マウスホイールによっても拡大・縮小することが可能です。
- ・【リセット】：3D 表示の回転、移動、拡大・縮小をリセットし、3D 表示を初期状態に戻します。

⇒図面の入力に応じて、【3D 確認】画面の表示結果もリアルタイムに変わります。

- ・【表示】：【表示設定】ウィンドウが表示されます。
屋根や壁などの表示部位の表示・非表示を設定することができます。
- ・【印刷】：3D で表示されている建物を印刷することができます。

※3D 確認画面は CAD 入力画面が表示されている状態でないとご利用できません。

※CAD の入力項目（柱、開口など）が多くなると、システムの表示速度が遅くなる場合がありますので、その場合は【3D 確認】ウィンドウを閉じてください。

ホームズ君「省エネ診断」
操作マニュアル（基本編）

著作 株式会社インテグラル
茨城県つくば市学園南 2 丁目 7 番地
TEL 029-850-3331
FAX 029-850-3334

発行 株式会社インテグラル
茨城県つくば市学園南 2 丁目 7 番地
TEL 029-850-3331
FAX 029-850-3334

2010年 1月20日 初版 第1刷発行
2024年 10月 7日 第28版 第1刷発行

(C)株式会社インテグラル